

沿革・概要

1 図書館のあゆみ

- 明治14年7月 宮城書籍館を仙台市勾当台通28番地 宮城師範学校内に創設（25日）
講堂（116㎡）を閲覧室，書庫（66㎡²階建）を業務室と書庫に利用。蔵書数17,682冊
- 25年5月 大槻文彦（当時の尋常中学校長 国語辞典『言海』の著者）が第8代館長を兼務
- 26年1月 宮城師範学校移転後，附属小学校校舎を修築し，延304㎡の独立館舎となる
- 40年4月 名称を宮城県立図書館と改称
- 大正元年10月 現在の勾当台公園南辺に独立館舎新築落成（延面積1,740㎡，蔵書数68千冊）
- 8年11月 名称を宮城県図書館に改称
- 昭和6年10月 宮城県図書館創立50周年・青柳文庫創立100周年記念式典を挙行（13日）
- 8年10月 図書館令により宮城県中央図書館に指定
- 20年4月 戦災を避けるために貴重な図書類（8,557冊）を宮城町上愛子の石垣彦左エ門，同町芋沢の佐藤兵之進両家の土蔵に疎開する
- 20年7月 仙台空襲のため館舎，書庫及び図書類全焼（9日深夜～10日早朝）
- 24年11月 宮城県庁西側（旧養賢堂跡地）に図書館落成（建築面積725㎡，延面積1,091㎡）
- 24年12月 伊達家より伊達文庫約35,000冊を購入（25日）
- 25年3月 大槻文庫79種，214点が寄贈される
- 31年4月 国立国会図書館よりP Bレポート（米国務省内のReport of Publication Board）の貸与を受け，東北大学内に宮城県図書館分室P Bレポート東北地区センターを置く
- 33年12月 児童会館（新坂通）に「分室こどもとしゃかん」を開設し児童書を移管
- 37年4月 P Bレポートセンターを東北地区科学技術資料館と改称
- 38年4月 宮城県図書館館則の公布，施行
- 39年10月 宮城県図書館新築に関する請願について，県議会厚生文教常任委員会について採決
- 40年9月 宮城県議会において，起債3,000万円が決定し補正予算5,000万円計上提案され，県図書館新築決定
- 40年12月 仙台市榴ヶ岡5番地を図書館用地にするため，県開発公社と孝勝寺役員代表（所有者）が土地売買契約締結（用地面積3781.25㎡）
- 41年1月 昭和41年度図書館建築費国庫補助金1,500万円交付決定
- 41年5月 宮城県教育委員会行政組織規則の施行に伴い，総務課，資料課，奉仕課の3課制を実施
- 42年1月 仙台市榴ヶ岡5番地に県図書館新築のため，起工式挙行
- 43年1月 昭和43年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
宮城県図書館を仙台市榴ヶ岡5番地に新築落成，開館（18日，延面積4,040㎡，蔵書数19万冊）
昭和31年4月東北大学内に設置した東北地区科学技術資料館を新館に移転
- 43年9月 配本車の運行開始，県内69市町村に配本所設置
- 44年4月 宮城県図書館利用規定（昭和44年4月1日社第469号承認）を制定，施行
- 44年7月 移動図書館車「こかげ号」運行開始。県内23市町村を対象にへき地を選び53駐車場を設置
- 45年1月 宮城県図書館協議会規則公布，施行
- 49年10月 昭和49年度全国公共図書館視聴覚部門研究集会開催
- 50年10月 昭和50年度全国公共図書館整理部門研究集会開催
- 51年3月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により3課7係を設置
- 52年5月 第28回北日本図書館大会開催

- 53年6月 宮城県沖地震（12日）地震による被害のため6日間休館
- 53年10月 移動図書館車「こかげ号」更新
- 56年10月 創立100周年記念式典を挙（31日）
- 58年7月 本館北側に積層書庫を増築落成（建面積246.35㎡，延面積1181.10㎡）。書庫増築工事に伴い，電動書架，積層書架，昇降機等を増設
- 59年3月 創立100周年記念事業として『宮城県図書館百年史』を発行
- 60年10月 国際青年年記念「みやぎ青年文庫」開設
全国図書館大会開催
- 61年2月 日曜開館に伴う館則の一部改正（休館日）公布
- 61年3月 利用規程の一部改正（閉館時間）
- 61年4月 日曜開館始まる
- 61年11月 『宮城県図書館協会だより』創刊
- 62年9月 新書庫4・5層空調工事完了
- 62年10月 仙台通産局特許情報閲覧室が太陽生命ビル内に開所したため本館での閲覧を休止
- 63年4月 宮城県図書館協会研究委員会から研究報告「県内図書館サービスネットワークのありかたに関する研究」発表
- 63年6月 コミネット仙台パソコン通信加入。通信開始（行事等の案内）
- 63年7月 特集文庫「21世紀ライブラリー」開設（分類にNDC8版を採用）
- 平成元年6月 宮城県図書館資料収集方針施行
- 元年8月 松島瑞巖寺所蔵の仙台版木1,700枚を移管
- 元年11月 特許公報類地方閲覧所を廃止
- 2年3月 図書館情報ネットワークシステム調査委員会から教育長あて報告書提出
- 2年6月 本館所蔵『坤輿万国全図』が国の重要文化財に指定
- 3年2月 宮城県図書館館則の一部を改正する規則（休館日）公布
- 3年3月 宮城県図書館協議会から館長あて協議会審査報告書『宮城県図書館の整備充実方策について』提出
- 3年6月 協力車運行開始（5コース，月1回運行）
- 3年7月 特集文庫「東北学ライブラリー」開設
- 3年9月 有識者等からなる宮城県図書館建設委員会設置
- 4年7月 文仁親王殿下，文仁親王妃紀子殿下来館（20日）
宮城県図書館建設委員会から県教育長あて「宮城県図書館建設基本構想」提出
- 4年10月 第4回全国生涯学習フェスティバル協賛事業開催（3事業）
- 6年3月 移動図書館巡回事業廃止
宮城県図書館情報ネットワークシステム概要設計完成
- 6年4月 特集文庫「宮城学習の森ライブラリー」開設
- 6年12月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』（着色）6幅修復完了
- 7年1月 宮城県図書館調査専門会議設置
- 7年4月 第3回宮城県図書館調査専門会議開催
- 7年6月 平成7年度北日本地区公共図書館研究協議会，第46回北日本図書館大会，第11回宮城県図書館大会開催（於：仙台市）
- 7年9月 国指定重要文化財『坤輿万国全図』6幅修復完了

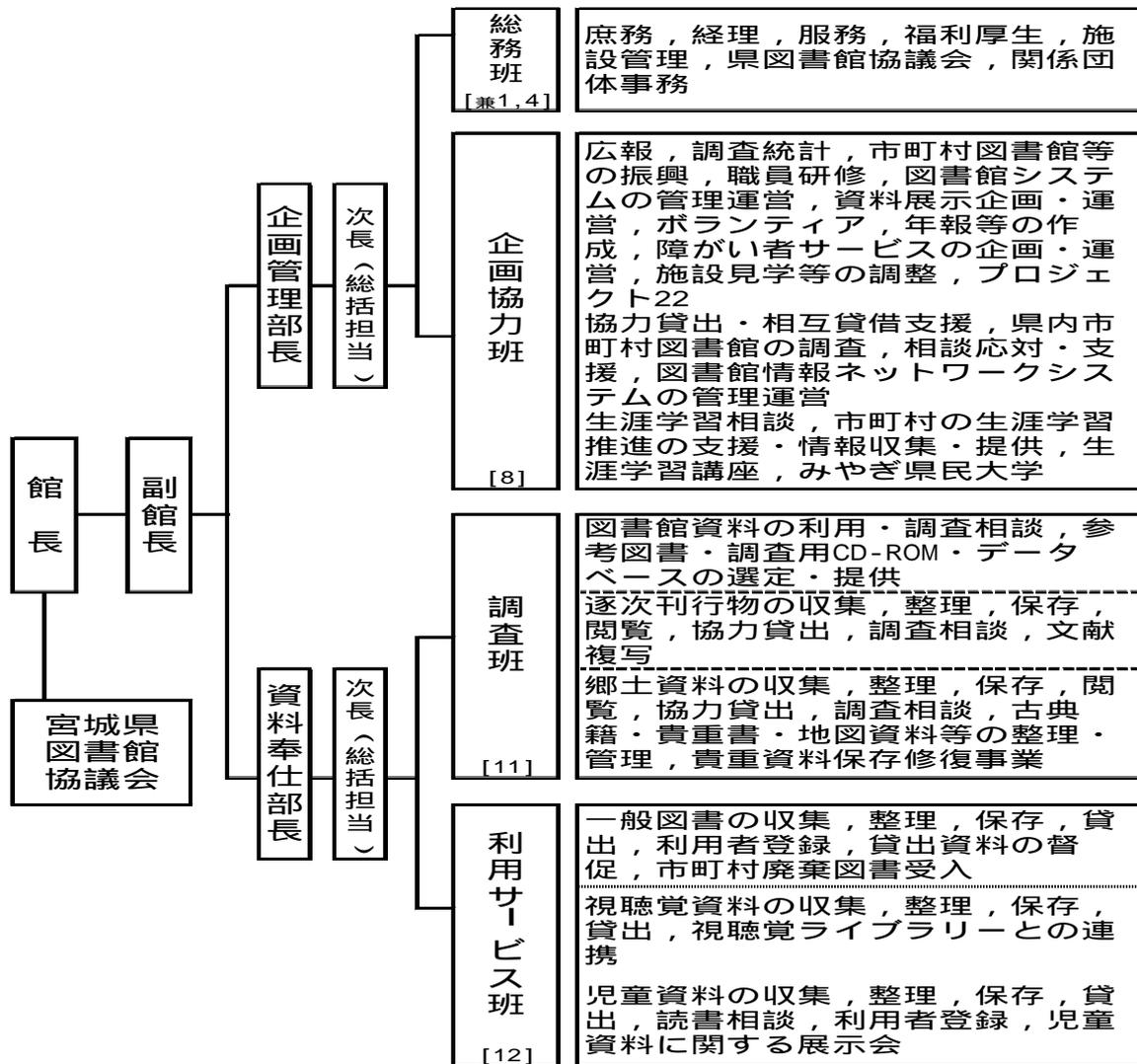
- 7年11月 宮城県図書館調査専門会議 報告書提出
新宮城県図書館起工式（仙台市泉区紫山一丁目1番地）
- 7年12月 井上藤吉氏より「街頭紙芝居」4万点寄贈される
- 8年9月 北海道・東北地区視聴覚ライブラリー研究協議会開催（仙台市）
- 8年10月 北日本地区公共図書館研究協議会総務部門開催（仙台市）
利用者端末設置稼働・生涯学習情報提供システム稼働
宮城県図書館情報ネットワークシステム稼働
- 8年11月 文化財保護課へ博物資料13点移管
- 9年6月 宮城県教育改革推進本部図書館利用調整部会開催
- 9年7月 新図書館運営検討調整部会開催
- 9年8月 宮城県図書館（榴ヶ岡）閉館記念行事（最終映画会，図書館探検）閉館（31日）
- 9年9月 新宮城県図書館竣工
- 9年10月 新館への移転開始
- 10年1月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4課9係制を設置
- 10年3月 新館オープン（21日）開館記念事業（コンサート・上映会・図書館探検）
- 10年11月 祝日開館施行始まる
- 11年2月 宮城県図書館協議会より県内図書館の振興策について答申
- 11年4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4班制を設置
- 12年4月 祝日開館本格実施
図書館作成ホームページ公開（20日）
本館所蔵『仙台城下絵図』等13点が仙台市指定有形文化財に指定（28日）
- 12年6月 子ども読書年記念行事開催
- 13年4月 インターネット蔵書検索システム公開（1日）
館内利用者用蔵書検索システム更新（1日）
- 13年7月 宮城県図書館創立120周年記念特別展示「青柳文庫展」開催
- 14年2月 古文書（購入分，約15,000点）を東北歴史博物館（宮城県多賀城市）へ移管
- 14年3月 図書館情報ネットワークシステム（館内業務用図書館システム，市町村図書館ネットワークシステム）更新
宮城県内図書館総合目録（横断検索）システム公開（1日）
音と映像のフロア機器更新
- 14年6月 図書館ホームページ内でメールによるレファレンス受付開始（8日）
- 14年11月 学都仙台オンライン目録（東北大学附属図書館提供）に参加（25日）
- 15年1月 本館所蔵『禽譜』『観文禽譜』ほか8資料が県指定文化財（書籍）に指定（31日）
- 15年2月 特別展「きらめく叡智と美のしづく展 図書館新館五周年記念・宮城の至宝展」開催（2月11日～3月28日）
- 15年4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部5班10担当制を設置
- 15年5月 三陸南地震（26日18時24分ごろ，M7.0，最大震度6弱）
地震による被害のため6月15日まで臨時休館（月曜日を除く休館日数17日）
- 15年7月 本館所蔵『仙台領国絵図』『仙台城下絵図』等970資料が県指定文化財（歴史資料，書籍）に指定（1日）

- 16年4月 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業 みやぎ文化資源の保存・活用事業の推進 が平成30年までの15カ年計画の予定でスタート
- 16年6月 本館所蔵『音点春秋左伝詳節句解』等朝鮮古刊本262資料が県指定文化財(典籍)に指定(29日)
- 17年1月 本館所蔵貴重資料を「叡智の杜Web」と題してホームページで公開
- 17年4月 宮城県教育委員会行政組織規則の一部改正により2部4班制を設置
宮城県図書館資料収集方針を改正し、施行
- 17年7月 本館所蔵『環海異聞』『奥州名所図会』等6件35点が県指定文化財(典籍, 歴史資料)に指定。また『北極出地度里程測量』3点が先に指定を受けた『伊能図』5軸の附属資料として追加指定(26日)
- 18年3月 本館所蔵「紙芝居資料」5,652点が国の登録有形文化財(美術工芸品)に登録(31日)
- 18年4月 文化庁「平成18年度文化ボランティア推進モデル事業」委嘱(10日)
- 18年6月 第56回北日本図書館大会宮城大会・宮城県公共図書館等総合研修会開催(29~30日)
- 18年11月 宮城県図書館創立125周年記念・東北大学附属図書館合同企画展「江戸の遊び」をせんだいメディアテークで開催(4~14日)
文部科学省委嘱「平成18年度図書館地区別(北日本)研修」開催(7~10日)
宮城県図書館創立125周年記念コンサート「J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲演奏会」開催(19日)
- 19年2月 本館所蔵『宮城県漁具図解及び略解』1件2点が県指定文化財(書籍, 典籍)に指定。また『關算四傳書(写本)』33点が先に指定を受けた474点に追加指定(16日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしずく展~宮城県図書館所蔵貴重資料の世界~」開催(19日~3月25日)
- 19年3月 宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム公開(1日)
- 19年6月 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」委託(29日)
- 19年10月 本館所蔵『奥羽観蹟聞老志』『風土記御用書出』2件86点が県指定文化財(書籍, 典籍)に指定(26日~平成20年3月15日)
秋田県立図書館交流展「きらめく叡智と美のしずく展~秋田県立図書館所蔵貴重資料の世界~」開催(6日~12月5日)
- 19年11月 館内整理日(第一金曜日)閉館実施(2日)
- 20年2月 第3次宮城県図書館情報ネットワークシステム更改, 自動貸出機導入
音と映像のフロアでのブース視聴廃止
- 20年3月 『みやぎの叡智 - 宮城図書館貴重書の世界 - 』(郷土関係貴重書の図版解説目録)発行(1日)
宮城県図書館振興基本計画 2008-2012年 策定・公開(31日)
- 20年7月 平成20年度 北日本図書館連盟・経営部門研究協議会開催(25日)
- 20年10月 東北大学附属図書館/宮城県図書館合同企画展「はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! - 」開催(25日~11月24日)
- 21年3月 宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画(2008-2012)アクションプラン策定
宮城県図書館資料収集方針・同資料選定基準改訂

2 施設概要

敷地面積	55,278.74m ²		
構造	SRC 地上4階,地下1階		
建築面積	6,358.12m ²		
延床面積	18,100.63m ²		
収蔵能力	1,500,000冊		
	面積	: 3,512.58m ²	
	開架冊数	: 300,000冊	
	閲覧席	: 393席	
開架・閲覧室	利用者用検索端末	蔵書検索用	24台
		CD/DVD検索用	12台
		インターネット用	7台
	デジタル情報閲覧端末	オンラインDB用	4台
		CDデータ用	4台
		自動貸出返却装置	3台
		その他	: 雑誌架,新聞差し,ベンチ
音と映像のフロア	面積	: 523.10m ²	
	開架冊数	: ビデオ6,000本, CD5,000枚, DVD1,500枚, 楽譜5,000冊	
子ども図書室	面積	: 452.25m ²	
	閲覧席	: 25席	
	その他	: 絵本架,紙芝居架,児童書架,新着図書架,児童雑誌・新聞架	
	開架冊数	: 20,000冊	
閉架書庫	面積	: 3,134.39m ²	
	3階書庫	: 500,000冊	
	4階書庫	: 700,000冊	
駐車場(敷地内)	面積	: 6,700m ²	駐車台数 : 300台
臨時駐車場	面積	: 約10,000m ²	駐車台数 : 120台

3 組織・事務分掌 (平成21年4月1日現在、[]内は職員数)



職員数

() : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主幹	主任主査	主査	主事	計	嘱託	臨時職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	5 (1)	3 (1)	9 (3)	17 (8)	41 (14)	18 (18)	23 (7)	41 (23)

宮城県図書館振興基本計画

宮城県図書館振興基本計画

1 理念

情報の拠点としての県図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様のより充実した生涯学習を支援します。

なお、この計画は2008年から2012年の5カ年で進めるものです。

2 基本方針

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
- (2) 情報の拠点としての図書館
- (3) 次世代を育成する図書館

3 施策と事業計画

- (1) 生涯学習に役立つ図書館
 - 資料の収集・整備
 - a 生涯学習に役立つ資料の収集と整備
 - 生涯学習情報の提供
 - a 生涯学習相談の実施
 - b 学習機会の提供
 - 利用しやすい図書館への工夫
 - a 情報発信の促進
 - b 館内表示の工夫
- (2) 情報の拠点としての図書館
 - 県内市町村図書館等への支援・連携・協働
 - a 図書館資料の協力貸出の推進
 - b 図書館間の相互協力体制の充実
 - c 図書館の整備・運営に関する助言
 - いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実
 - a 図書館情報ネットワークシステムの整備
 - b 障がい者サービスの充実
 - 調査・研究に役立つ機能の充実
 - a 調査・研究に役立つ資料の収集
 - b レファレンス事例の作成・公開
- (3) 次世代を育成する図書館
 - 郷土関係資料の維持・充実
 - a 宮城に関する資料の収集と整備
 - b 宮城県の行政資料の収集と行政課題に関する情報提供
 - 子どもの読書環境の充実
 - a 読書環境の整備充実
 - b 読書活動の理解の促進
 - 「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進
 - a 図書館の知的財産の活用
 - b 図書館の人的資源の活用

平成 20 年度概況

1 概況

平成 20 年度には、前年度末に策定した『宮城県図書館振興基本計画』の今後の具体的な方向性を示した行動計画（アクションプラン）を平成 21 年 3 月に公開しました。この計画の理念は情報の拠点としての図書館の機能を強化し、地域文化を保護・育成・活用する「22 世紀を牽引する叡智の杜づくり」を進め、県民の皆様により充実した生涯学習を支援することにあります。その実現のための具体的な行動計画を策定するにあたっては「県の図書館としてどのように行動していくか」を念頭に宮城県図書館協議会、県内の公共図書館の意見及び利用調査の結果等を考慮しました。

今年度からの新たなサービスとしては、3 階の一般図書カウンターで自動貸出機を導入して貸出業務の合理化を図り、1 階の音と映像のフロアにおいては生涯学習に関する資料及び戦後貴重映像資料の各コーナーを新設することにより本館所蔵資料のさらに幅広い活用を図りました。また、平成 21 年 1 月から月 1 回のメールマガジンを発行して、図書館で行っているサービスの説明や催し物等について図書館からのよりきめ細かい情報発信を行っています。

一般県民に対してはこれまで個人の発表の場であった県民大学において職員の自主企画「プロジェクト 22」（全 3 グループ）の成果を発表するという新たな試みを行いました。また、県民の方々が自身の生涯学習の成果を発表する場として「家系図作成」、「二胡の会 演奏会」、「お正月飾りを作ろう」等多様な分野からなる「アラカルト講座」を計 8 回開催し、いずれの講座も好評のうちに終了しました。

また、東北大学附属図書館との共催で 10～11 月に本館展示室で「関孝和没後 300 年記念 はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! - 」というテーマで和算に関する合同展示会を開催しました。この展示会では宮城県の有形文化財に指定されている『関算四伝書』をはじめ本館及び東北大学附属図書館所蔵の和算関係の貴重資料が公開されました。また、この展示期間には記念講演会を本館において 2 回開催して多くの方々に参加していただきました。

平成 21 年 3 月には県庁講堂において宮城県図書館移転開館 10 周年を記念して、『坤輿万国全図』『仙台領国絵図』『禽譜』等の本館所蔵の貴重資料のレプリカ等の移動特別展示会を 2 日間にわたって開催し、一般県民を中心に多くの見学者がありました。なお、この展示会に先立ち本館において「ふるさとみやぎに息づく日本のこころ」というテーマで館長による特別記念講演（全 3 回）を開催しました。

「貴重資料修復保存事業」の分野では、「遠田郡桃生郡境塚絵図」の修復を行いました。次世代育成を目的とした事業としては、複製資料の学校等への貸出、子どもの本の小学校への移動展示会等を通して読書環境づくりや読書活動の普及に努めました。

また、市町村図書館及び学校図書館等関係職員から寄稿をいただき、図書館紀要『叡智の杜』（第 6 号）を発行しました。

図書館サービスについては、年間個人貸出冊数は 927,948 冊となり、前年度より 5,442 冊の増加となりました。一方、市町村図書館等への協力貸出資料は 26,018 冊となり、前年度比 2,146 冊の増加となりました。

平成 20 年度北日本図書館連盟・経営部門研究協議会が 7 月に本館で開催され、北海道、東北地区の公共図書館関係者約 70 名が参加して「『地域と共に歩む公共図書館』 公共図書館の新しいサービスのあり方」というテーマで図書館業務の民営化が進みつつある中で公共図書館の今後のサービスについて活発な議論がなされました。

2 平成20年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (19年度当初)	概 要
管 理 経 費	232,647 (242,336)	本館の運営維持費（定員内職員の人件費を除く）
図 書 館 協 議 会	429 (434)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	6,246 (15,384)	機器使用料，消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	53,609 (54,859)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	784 (1,000)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	45,010 (53,694)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,258 (15,924)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
生涯学習相談事業費	1,400 (2,323)	生涯学習相談に要する経費
合 計	342,383 (385,954)	

3 実施事業の概要

(1) 生涯学習に役立つ図書館

資料の収集・整備

a 生涯教育に役立つ資料の収集と整備

資料の整備状況

〔一般図書資料〕(外国語書籍を含む)

購入 7,695 冊, 寄贈 1,485 冊, その他 181 冊の受入・整理を行いました。

特別整理期間には, 蔵書点検や本棚の整理, 清掃等を実施しました。

〔視聴覚資料〕

購入資料点数は431点で, DVD(156点), カセット(107点), CD(102点), そして新しい形態の映像資料としてELIB(33点)を, 県民の学習ニーズ, 教育の今日的課題, 保存の必要性(郷土資料を含む)の視点から収集, 受入・整理を行いました。

寄贈資料, その他を含めて, 866点の整理を行いました。

〔児童資料〕(紙芝居・逐次刊行物を含む)

購入 4,753 冊, 寄贈 319 冊, その他 17 冊の図書, 購入 16 種, 寄贈他 21 種の逐次刊行物を整理しました。

児童資料研究室書架の配架方法を見直し, 効率よく出納に対応できるよう整理しました。

旧館外図書の受入作業が終了し, 県立学校・市町村小中学校への管理換・県内市町村図書館及び公民館図書室の受入作業が進みました。

〔調査相談資料〕

財団法人宮城県教職員互助会の公益事業(教育文化事業)の一環として, 『人物レファレンス事典』『海の動物百科』等の参考図書を含む 33 冊の寄贈を受けました。

〔逐次刊行物〕

購入 860 タイトル, 寄贈 1,796 タイトル計 2,656 タイトルを継続受入タイトルとして受け入れ, 整理しました。

県域の資料保存センターとして, 県内市町村図書館からの移管雑誌を 481 タイトル, 4,906 冊受け入れ, 整理しました。

資料費の削減に対応して, 新聞のマイクロフィルム購入を一部見合わせました。

雑誌の特集情報を検索ツールとして整備するために, 本館業務システムへの登録作業を行い, 登録件数は 37,386 件となりました。

〔郷土資料〕(地図を含む)

購入 568 冊, 寄贈 501 冊, 計 1,069 冊の図書, 購入 13 枚, 寄贈 16 枚の地図を受け入れ, 整理しました。

逐次刊行物は, 継続タイトルの整理に加えて, 新規に雑誌・新聞 97 タイトル, 行政資料 15 タイトルを受け入れ, 整理しました。

古書の利用者用代替資料マイクロフィルムの劣化に対応するため, マイクロフィルム再整備事業を開始しました。20年度は『皇国地誌』マイクロフィルム 53 本を接合した複製フィルム 10 巻を作成しました。

「NPOみなとしおがま」が本館所蔵『環海異聞』(大槻玄沢/編著, 県指定有形文化財)を底本として影印本を作成し, 本館も寄贈を受けました。また, 同NPOは本館所蔵『環海異聞』を

紹介した、学校用副読本「鎖国の時代に世界一周をした若宮丸の津太夫と左平～初めて世界一周した日本人～」を発行し、本館にも寄贈されました。

生涯学習情報の提供

a 生涯学習相談の実施

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間536件(面接相談442件、電話相談94件)で、生涯学習室への入室者数は2,515人となりました。なお生涯学習室での生涯教育相談は21年3月末日をもって終了しました。

b 学習機会の提供

・「プロジェクト22」 宮城県図書館活用推進事業

平成16年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。平成20年度は「みやぎ県民大学開放講座」(全5回)と東北大学合同企画展、図書館親子ツアーの3プロジェクトで構成しました。

県民大学では全5講座のうち、3講座は本館職員で編成したチーム(各8~9名)による講演として行い、2講座は個人が担当し実施しました。

(職員3チーム及び個人2人(A~E)による自主企画事業)

回	日時	内 容	対象・参加人数
1	11月1日(土)	Aチーム(9名)「目で見るみやぎ～県政ニュースを振り返る～」 本館所蔵の映像資料「宮城県政ニュース」(宮城県文書広報課制作/1954~1987)の中から「国民温泉となる鳴子温泉郷(昭和34年制作)」「津波宮城県を襲う(昭和35年)」「牡鹿コバルトライン(昭和45年制作)」を上映し当時の暮らしや文化などを紹介、またデジタルアーカイブを紹介しました。	一般 (23人)
2	11月8日(土)	大和田順子「江戸城内の将軍家図書館 紅葉山文庫と書物奉行-」 江戸時代、将軍のために江戸城内紅葉山に設けられた「御文庫」(「紅葉山文庫」は明治以降の呼称の概要、蔵書、書物奉行による蔵書管理などについて『幕府書物方日記』を資料として紹介し、蔵書の利用状況、書物奉行の果たした役割などについて考察しました。	一般 (22人)
3	11月15日(土)	Bチーム(8名)「折本づくりについて～超かんたんきれいに仕上がる私だけのオリジナル折本～」 図書館資料の「形態」に着目し、「和装本」の中から「折本」を取り上げ、その構造や作り方について解説し、参加者には実際に年賀状ブックやミニ写真集制作を体験してもらいました。 あわせて手作り製本に関するブックリストも紹介しました。	一般 (13人)

4	11月22日(土)	内馬場みち子「宮城県図書館 貴重書の世界 みやぎの『叡智』の源流を訪ねて」 本館所蔵貴重書解説目録『みやぎの叡智』をテキストに使用して、国指定重要文化財『坤輿万国全図』(17世紀の漢訳世界図)や県指定有形文化財『禽譜』(江戸後期の鳥類図鑑)、『環海異聞(仙台藩水夫の漂流記)等を取り上げ、成立や内容、資料にまつわるエピソードなどを紹介しました。	一般 (19人)
5	11月29日(土)	Cチーム(8名)「時代(とき)に睨まれた本たち もう一つの貴重資料 -」 時代の権力に睨まれ、発禁や出版禁止となった書物について、近現代編では『石に泳ぐ魚』(柳美里)、『ちびくろ・さんぼ』(ヘレン・パナーマン)、江戸時代編では『海国兵談』(林子平)を取り上げ、時代背景や処分の具体的な内容などについて解説しました。	一般 (19人)

東北大学との合同企画展「関孝和没後300年記念 はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」を実施しました。

回	日時	内 容	
1	10月25日(金) ~11月24日(日)	東北大学合同企画展示会 「関孝和没後300年記念はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」 本館所蔵貴重資料から『関算四伝書』(戸板保佑編)などの和算関係資料を展示 記念講演会 10月25日(土) 参加者86人 「算法少女のなぞ」 講師 遠藤寛子氏(児童文学作家) 11月8日(土) 参加者104人 「和算を楽しんだ江戸時代の人々」 講師 土倉保氏(東北大学名誉教授) 「いろいろな見方で楽しもう! 和算の問題」 講師 萬伸介氏(宮城教育大学教授)	観覧者 約2,600人

「図書館親子ツアー」を夏休み中の子どもたちを対象に2回実施しました。

回	日時	内 容	参加人数
1	8月6日(水)	閉架書庫の案内, 所蔵資料の紹介	親子 8組 計19人
2	8月9日(土)		親子 8組 計21人

「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となりましたが、同時に職員意識向上、組織の活性化を図る好機ともなりました。

・ボランティア活動の機会の提供

社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行いました。新規登録は74人で、ボランティア登録者は延べ136人となりました。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座として、一般書架整理（登録者40人）、児童書架整理（同9人）視聴覚整理（同20人）、読み聞かせ（同10人）、音訳（同35人）、図書館案内（同22人）を実施しました。

図書館ボランティア研修

- 1) 養成講座 本館ボランティア 平成20年度新規登録者（74人）を対象に実施
ア 一般講座

期日：平成20年2月28日（木）・3月1日（土）（追加登録者向け5月22日（木））

内容：宮城県図書館の概要，ボランティアについて，各活動担当者の紹介

（参加者：70人 追加登録参加者7人）

- イ 専門講座 活動分野ごとに，ボランティア登録を行い，専門講座を実施している。ただし，複数の専門講座を受講できることとしている。）

書架整理一般 平成20年度新規登録者 25人 追加登録者0人

回	期日	内容	参加者
1	2月28日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	21人
補	3月1日(土)	ラベル(請求記号)・配架について	4人
補	5月22日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	1人

書架整理児童（平成20年度新規登録者 0人 追加登録者1人）

回	期日	内容	参加者
1	5月22日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	1人

視聴覚 平成20年度新規登録者 12人 追加登録者1人

回	期日	内容	参加者
1	2月28日(木)	活動内容について・配架について	10人
補	3月1日(土)	活動内容について・配架について	2人
補	5月22日(木)	活動内容について・配架について	1人

読み聞かせ 平成20年度新規登録者 7人 追加登録者1人

回	期日	内容	参加者
1	2月28日(木)	読み聞かせの実演及び子どもの本，おはなし会について	4人
補	3月1日(土)	読み聞かせの実演及び子どもの本，おはなし会について	1人
補	5月22日(木)	読み聞かせの実演及び子どもの本，おはなし会について	1人

音訳（全4回） 平成20年度新規登録者 11人 追加登録者1人

回	期日	講座 内容	参加者
1	4月16日(水)	障がい者サービスについて，読み調べについて	6人
2	4月24日(木)	読み調べについて	6人
補1	4月26日(土)	障がい者サービスについて，読み調べについて	7人
3	5月8日(木)	音訳サービスの実際1（読みの基本，機器の操作方法）	5人
4	5月15日(木)	音訳サービスの実際2（機器の操作方法）全体会	15人
補2	5月17日(土)	音訳サービスの実際1，音訳サービスの実際2	9人

音訳（全3回） 平成20年度新規登録者 13人 追加登録者2人

回	期日	講座 内容	参加者
1	7月17日(木)	読みの基本，校正技術講習会	20人
2	7月26日(土)	文芸作品の読み方，全体会	14人
3	7月31日(木)	報道記事の読み方，デジタル録音機講習会	17人

図書館案内（全5回）平成20年度新規登録者15人を含む22人を対象に実施

回	期日	内容	参加者
1	5月14日(水) 5月17日(土)	施設見学についての説明	15人
2	6月4日(水) 6月14日(土)	特別展「きらめく叡智と美のしずく」展示説明	15人
3	10月24日(金)	合同企画展「関孝和没後300年記念 はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」展示説明	15人
4	12月20日(土)	特別展「叡智の杜から - 仙台藩校養賢堂の和算書と 洋学書 - 」展示説明	14人
5	3月7日(土)	特別展「地図～世界を規定する試み～」展示説明	16人

2) 全体研修会 本館ボランティア登録者136人(新規69人, 継続67人)を対象

期日:平成20年6月12日(木)

内容:宮城県図書館の概要, 分類について, 各活動報告・連絡(参加者:45人)

・上映会

年間47回実施し, 669人の参加者がありました。1回当たりの参加者数は14.2人でした。

期日:毎月第2, 第4土曜, 日曜日

・生涯学習アラカルト講座

12月に「アラカルト講座」を計8回開催し, 県民の方々の生涯学習の発表の場を提供するとともに延べ167人の県民の方々にご参加いただきました。

回	期日	内容	講師
1	12月10日(水)	「バリアフリーとユニバーサルデザインの違いについて」	岡 正彦氏(国土交通省仙台河川国道事務所計画課担当 専門職)
2	12月11日(木)	「竹細工(竹とんぼ・竹鉄砲)を体験!」	近江 純氏
3	12月12日(金)	「家系図作成 歴史を学んで自分探し」	鹿郷 健二氏 (ヒューマン・トナリ主宰)
4	12月13日(土)	「仙台二胡の会 演奏会」	仙台二胡の会
5	12月17日(水)	「好感度アップ100%術」	伊藤 ゆうみ氏(東京R&Gグループ代表 心とからだの健康相談主宰)
6	12月18日(木)	「家系図作成 歴史を学んで自分探し」	鹿郷 健二氏 (ヒューマン・トナリ主宰)
7	12月20日(土)	「はやね・はやおき・あさごはん」	相澤 信氏 (理学博士 日本生物教育学会理事 仙台医療秘書福祉専門学校長)
8	12月24日(水)	「お正月飾りを飾ろう オーストラリアの自然に触れて」	上野 みち子氏(特定非営利活動法人フラワーセラピー研究会)

・本館移転開館10周年記念・館長特別講演および移動特別展

館長特別講演 「ふるさとみやぎに息づく日本のこころ」(全3回)

平成21年2月28日(土) 3月7日(土) 14日(土)(ホール養賢堂)

「きらめく叡智と美のしずく展 未来へ伝えるみやぎの文化財」

平成21年3月18日(水)～3月19日(木)(宮城県庁)

利用しやすい図書館への工夫

a 情報発信の促進

ビジネス支援コーナーについては引き続き、関係機関・団体、金融機関等から資料を収集・配架し、コーナーの充実に努めました。

・広報活動

宮城県図書館だより『ことばのうみ』第28号から第30号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布しました。

平成21年1月からメールマガジンを発行して利用者の方々にイベント情報や図書館についての役立つ情報を毎月1回配信するサービスを開始しました。

地元FM局「エフエムいずみ」で毎月第2木曜日の地域情報コーナーに本館職員が出演し、企画展・イベント等の広報を行いました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行(116号～127号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも紹介をしました。

月毎、職員による本の紹介(「私の一冊」)をしました。(年間12回)

b 館内表示の工夫

児童資料研究室書架の配架方法を見直し、効率よく出納に対応できるよう整理しました。

館内の非常口表示を大きく見やすくしました。

遊歩道「書見の道」のカラー案内図を作成しました。

1階ロビーに移動黒板を設置しました。

1階事務室の表示を見やすくしました。

2階ボランティア室に使用中の札を作成し表示しました。

(2) 情報の拠点としての図書館

県内市町村図書館等への支援・連携・協働

a 図書館資料の協力貸出の推進

・市町村図書館・公民館図書室等への支援

県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供(本館所蔵資料の協力貸出)を行いました。協力貸出冊数は26,018冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に24,630冊を貸し出し、前年度比9.0%増となりました。

協力貸出資料(相互貸借資料を含む)は、宅配便により、各市町村図書館、公民館図書室等に宛てて、毎週水曜日(年間49回)に発送しました。

b 図書館間の相互協力体制の充実

市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催しました。

会議では、資料の分担収集、保存についての検討の必要性が課題となり、また宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)活用方法等についての協議も行いました。

県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し、「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成・配付しました。

これまで地域の資料保存センターとして、県内市町村図書館からの移管雑誌を受け入れ、整理してきましたが、本館での保存場所に限りが生じたため、平成20年度以降発行分の雑誌に関しては受

け入れないことを決定しました。なお、移管雑誌受入は平成11年度から実施してきました。

NACSIS-CAT(目録所在情報システム/国立情報学研究所主催)への本館の雑誌所蔵登録は、今年677件を登録し、9,971件となりました。所蔵登録雑誌の更新作業も進めました。

c 図書館の整備・運営に関する助言

市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会(平成20年度北日本図書館連盟総合・経営部門研究協議会を兼ねる)、勤続年数に応じた職員研修会、及び公民館図書室担当職員研修会を開催しました。なお、職員研修会 は多賀城市立図書館を会場として、「レファレンスサービス」のワークショップを実施しました。

公共図書館等初任者研修会(前期)

期日:平成20年5月9日(金)

講義1:「図書館ってこんなところ」 講師:宮城県図書館 田代 恭子

講義2:「著作権について」 講師:宮城県図書館 田中 亮

講義3・演習:「分類について」 講師:宮城県図書館 日野 文都 (参加者:49人)

公民館図書室担当職員研修

期日:平成20年6月20日(金)

講義1:「分類および図書室の利用について」 講師:宮城県図書館 日野 文都

演習:「利用される図書館を作る～分類と修理の話～」 講師:宮城県図書館 田代 恭子

講義2:「県図書館資料の利用について」 講師:宮城県図書館 高橋 智恵 (参加者:11人)

公共図書館館長研修会

期日:平成20年7月25日(金)

講演:「地域の知的基盤としての公共図書の新サービス展開」

講師:慶應義塾大学文学部 教授 岸田 和明氏

講演:「指定管理者制度で問われる公共図書館のミッション」

講師:公立大学法人横浜市立大学 理事 南 学氏 (参加者:47人)

公共図書館等初任者研修会(後期)

期日:平成20年9月26日(金)

講義・演習1:「クレーム対応について」 講師:宮城県図書館 田村 さおり

講義・演習2:「レファレンスサービスの基礎」及び「国立国会図書館レファレンス
協同データベースの解説」 講師:宮城県図書館 熊谷 慎一郎

国立国会図書館職員 小篠 景子氏

(参加者:24人)

公共図書館等職員研修会

期日:平成20年10月17日(金)

講義:「図書館サービスと著作権」

講師:独立行政法人メディア教育開発センター 尾崎 史郎氏 (参加者:36人)

公共図書館等職員研修会

期日:平成20年11月7日(金)

講義:「障がい者サービス」

講師:埼玉県立久喜図書館 主任司書 佐藤 聖一氏 (参加者:26人)

公共図書館等職員研修会

期日：平成20年12月5日（金）

講義：「レファレンス・サービス」

講師：富士大学経済学部 教授 斎藤 文男氏 （参加者：25人）

市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間2回の巡回を基本としました。巡回コースは20館を7コースにわけて実施し、延べ14日間行いました。4月当初には第1回目の巡回相談を実施し、各館の職員体制、重点事業などの最新情報を収集しました。

いつでもどこでもサービスを受けられる体制の充実

a 図書館情報ネットワークシステム（MY-NET）の整備

MY-NETの新規加入は富谷町中央公民館図書室、山元町坂元公民館図書室で、参加館は39館（図書館29+公民館10）となりました。

b 障がい者サービスの充実

新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ178人（前年度比48人増）、点字雑誌の貸出利用は延べ50人126冊（前年度比1人増・4冊増）となりました。

「ことばのうみ」録音版を音訳ボランティアに依頼して制作、目の不自由な利用者に貸し出しました。そのほか、プライベートサービスとして目の不自由な利用者に音訳テープの作成、電話音訳を実施しました。

一般図書の郵送貸出は、年間310件1,027冊の利用でした。

朗読テープ、ビデオテープ、CD及びDVDの郵送貸出数は1,858点で、前年度比189点の増になり、ここ数年利用率が増加している傾向です。

「声の情報誌」を音訳ボランティアに依頼して制作、目の不自由な利用者に貸し出しました。

調査・研究に役立つ機能の充実

a 調査・研究に役立つ資料の収集

本館で所蔵している『全音歌謡曲全集』（全音楽譜出版社／発行）38冊及び『全音歌謡曲大全集』（全音楽譜出版社／発行）全9巻に収録されている歌謡曲について、『総合索引』を作成しました。「曲名索引」に加えて、歌い出しの歌詞からも検索できる「歌い出し索引」を作成しました。

b レファレンス事例の作成・公開

「宮城県図書館におけるレファレンス事例公開事業実施計画」を策定し、事例公開の諸準備を行いました。平成21年4月から本館ホームページ及び国立国会図書館「レファレンス協同データベース」で一般公開することになりました。

調査相談担当でのデータベースの利用件数は438件（前年度比47件減）でした。最も利用頻度が高いのが東京商工リサーチの『CD・Eyes50 TSR企業情報ファイル』でした。

インターネット利用端末は合計4台で利用件数は5,630件（前年度比2,151件減）でした。これは端末機1台/日当たり4.8回（前年度比1.9回減）の利用状況となります。

逐次刊行物担当でのデータベース利用件数は河北データベースが211件（前年度比3件増）、朝日

新聞データベースは107件(前年度比54件減)、官報は23件(前年度比9件減)、雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが129件(前年度比26件減)の利用がありました。

市町村図書館からの協力レファレンス業務の効率化を図るため、宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NET)による受付方法を平成21年1月15日より「掲示板方式」に変更しました。

本館で所蔵していない資料の他館(国立国会図書館・大学図書館等)への複写依頼件数は259件(前年度比232件減)でした。また、他機関から本館への依頼は337件(前年度比90件増)でした。

(3) 次世代を育成する図書館

郷土関係資料の維持・充実

a 宮城に関する資料の収集と整備

平成20年度より、貴重な郷土の映像資料「宮城県政ニュース」(VHSビデオテープ)をデジタル化(DVD化)する、デジタルアーカイブ事業を行いました。今後も継続して取り組み、貴重な郷土資料の保存・活用に努めてまいります。

また、宮城県視聴覚ライブラリーとして、宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し、「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行いました。

みやぎ資料での調査活動において、持参のパソコンがご利用できるよう「持込みパソコン席」を4席設けました。

特別整理期間中に和古書の照合点検を実施しました。

b 宮城県の行政資料収集と行政課題に関する情報提供

(略)

子どもの読書環境の充実

a 読書環境の整備充実

新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介しました。

新たに受け入れた本の目録(「新刊図書等のご案内」)を作成し紹介をしました。(年間40回)3階フロアに自動貸出機を1台増置し、2月中旬から運用を開始しました。

第39回子どもの本展示会を4月19日～30日まで開催し、延べ796人の入場者がありました。

開催期間	会場	入場者数
4月19日(土)～4月30日(水)	ホール養賢堂	延べ 796人

「おすすめの本1冊」を募集、子ども図書室に掲示紹介をしました。

また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、21会場で延べ5,682人の入場者がありました。

小学校への移動展示会は、希望校82校で開催、入場者は15,549人ありました。

「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をしました。

b 読書活動の理解の推進

職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施しました。

月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行(116号～127号)しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介しました。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも紹介をしました。

19年度3月から貸出を始めたDVDは、20年度3月末で1,280点となりました。利用点数を一人1点としていますが、一日約45点の利用数となっており、利用数は昨年度と比べ増加しております。

21年度は2,000点を目標に準備を進めていくとともに、市町村図書館への貸出を推進してまいります。

就学前の子どもの登録は804人で、前年度に比べて79人の減となりました。

学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校5校、延べ246人の利用がありました。

また、「職場体験学習」は、中学校3校、高等学校は1校、特別支援学校1校、延べ15人の受入をしました。

児童文化資料（宮城県立保育専門学院からの寄贈）の貸出は、33団体、延べ182点の利用がありました。

「宮城県図書館次世代育成プロジェクト」の推進

a 図書館の知的財産の活用

・22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトです。「貴重資料修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー（事業）を設け、平成16年度を初年度に15カ年の長期計画を立てています。

「貴重資料修復保存事業」は貴重資料の体系的学術調査、国・県有形文化財の指定に向け準備、修復保存・レプリカの作成、修復成果品・レプリカの公開の4つのメニューで構成されています。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍（総計約57,500冊；和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊）などの貴重資料を対象に実施し、平成20年度末現在で、国指定重要文化財は『坤輿万国全図』、国登録有形文化財「紙芝居資料」の2件5,664点となり、県有形文化財は『禽譜』『魚蟲譜』など30件2,207点となっています。修復は「国絵図」の中から『遠田郡桃生郡境塚図』を行い、本事業の成果として3月から本館で展示会を開催し、一般公開をしています。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、古典・浮世絵への誘い（対象；高校、市町村）、名作への誘い（同）、子どもの本の移動展示会（市町村、小・中学校）、文化財レプリカの移動展示会（高校・市町村）、閉架書庫の見学（市町村、学校司書）、本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加（市町村、学校司書等）、貴重資料等の企画展示会（一般）、プロジェクト22（一般）など8つのメニューで構成されます。これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会の三者による連携を描いています。

本事業は平成19年度文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受け、「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト 宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」として、図書館、高等学校、教育委員会、県地方機関を地域拠点とし連携事業を展開しました。

以下に、プロジェクトごとに各メニューと平成20年度実績を概述します。

・貴重資料の保存修復事業

(1) 貴重資料の体系的学術調査

資料の体系的学術評価を行なうことを目的に平成15年度から実施。大学・学術研究機関等の研究者による専門調査を実施し、年次報告書を作成しています。

平成20年度（第6次調査）は、専門調査員5名により、洋学関係資料、郷土資料などの調査を

行いました。調査は延べ16日間実施しました。『国絵図』関係資料については3月26日・27日に、専門調査員の川村博忠氏（元山口大学教授）、濱田直嗣氏（前仙台市博物館長）、鵜飼幸子氏（仙台市史編纂室長）による合同調査を実施し、課題について整理を行い、目録作成など今後の進め方について指導を受けました。

なお、この合同調査には、文化庁文化財部美術工芸課主任文化財調査官にご同席頂きました。

(2) 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館所蔵貴重資料を対象に、(1)の「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告等に基づき、国・県有形文化財指定への準備を進めるものです。平成15年1月に『禽譜』『関算四伝書』等、9件816点が県有形文化財に指定されたことをはじめとし、平成21年3月末現在、国の重要文化財・登録文化財を含め、32件7,871点となっています。平成20年度は新たな文化財指定はありませんでした。

(3) 資料の修復・保存とレプリカの作成

本館収蔵の貴重資料の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15カ年の長期計画により進めてきました。

平成20年度は「国絵図」の中から『遠田郡桃生郡境塚図』1舗を修復しました。

(4) 修復成果品・レプリカの公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室において修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページ「叡智の杜Web」でデジタルデータを公開しています。本館所蔵の貴重資料の学校等への複製資料の貸出は32件でした。これまで資料修復にあわせて行ってきたレプリカとデジタルデータ複製は、20年度は予算削減により実施できませんでした。

平成20年度は事業開始5年目を迎えることから、3月18日・19日に、本館移転開館10周年記念・移動特別展「きらめく叡智と美のしづく展 未来へ伝えるみやぎの文化財」を県庁講堂で開催し、『坤輿万国全図』『仙台領海際絵図』『環海異聞』など国・県指定文化財13点（レプリカ）を一挙に公開。「叡智の杜Web」や次世代育成プロジェクトの実績などについて紹介しました。

本館展示室においては、特別展「地図～世界を規定する試み～」を開催。修復が完了した『遠田郡桃生郡境塚図』『仙台領際絵図』等を公開しました。

・次世代育成プロジェクト

(1) 「古典への誘い」 県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の貸出 -

高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『枕草子』等、古典文学複製資料の貸出を行うものです。

平成20年度は、角田高等学校、小牛田農林高等学校など14校に貸し出し、また図書館他施設では岩沼市図書館、七ヶ宿町公民館、栗原市金成生涯学習センターなど10施設に貸し出しました。

(2) 「浮世絵への誘い」 県内高等学校等を会場とした浮世絵名品複製資料の貸出

歌川広重の『東海道五十三次』、写楽の役者絵などを収録した『浮世絵聚花名作選』など、浮世絵名品集の複製資料を展示会用などとして貸出を行うものです。平成20年度は登米市東和総合支所など3施設で実施し、県立高校では仙台東高等学校、白石高等学校など5校に貸し出し、学校行事等において展示会が開催されました。

平成16年度から実施してきた「名作への誘い」（近代文学作品初版本の複製貸出事業）は平成19年度で終了しました。

(3) 「子どもの本の移動展示会」

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みです。

平成 20 年度は、市町村図書館、公民館図書室では計 21 館で開催され、入場者数は 5,682 人、また小学校 82 校でも開催され、入場者数は 15,549 人となりました。

(4) 「文化財レプリカの移動展示会」

県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を、県内高等学校、市町村図書館等を会場に開催するものです。

平成 20 年度は、白石市図書館、大崎市岩出山公民館など 5 会場において、『坤輿万国全図』『環海異聞』等レプリカの展示会を開催しました。高等学校では、一迫商業高等学校、名取高等学校で文化祭で展示会を開催するなど、8 校で学校行事として展示会を行いました。

(5) 「閉架書庫の見学」 市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学

県内高等学校の図書館司書等を対象に、教育の場において、約 100 万点に及ぶ館資料の活用を促すことを目的に、本館職員の案内のもとで閉架書庫などの見学を行っています。

平成 20 年度は、佐沼高等学校の教員と図書委員の生徒計 21 名、志津川高等学校の教員と図書委員計 26 名ほか、県外からは福島県立会津高等学校図書委員の生徒と教員計 6 名など 22 団体、計 709 名が閉架書庫などを見学し、本館資料と機能についての理解を深めました。

(6) 宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿 市町村図書館・県内高等学校の司書による寄稿

市町村図書館職員、学校図書館司書との連携を強化し、相互にレベルアップを図るため、論文、研究レポート、読書活動の事例報告などについて、本館紀要『叡智の杜』への寄稿をしていただくものです。

『叡智の杜』は平成 15 年度に創刊され、平成 20 年度の第 6 号においては、「国宝源氏物語絵巻展（宮城県図書館貸出の複製資料を活用して）」（美里町近代文学館職員）、「絵本のお医者さん開業記」（岩沼市図書館司書）、「子どもの本移動展示会報告」（蔵王町小学校教員）等、14 名からの寄稿がありました。

(7) 貴重資料等の企画展示会

本館展示室を会場として、国・県の文化財指定を受けた貴重資料等の特別展示会「きらめく叡智と美のしずく展」をシリーズで開催しています。平成 20 年度は第 8 回目を、本館移転開館 10 周年記念・移動特別展として県庁講堂で開催しました。

また、東北大学附属図書館との合同企画展示会「関孝和没後 300 年記念はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」を本館展示室で 10 月 25 日～11 月 24 日まで開催。本館所蔵・県指定有形文化財「関算四伝書」（仙台藩の天文学者戸板保祐編による関流算書の集大成）等を紹介しました。これについては、学習機会の提供「プロジェクト 2 2」の中で詳しく前述しています。

東北大学との合同企画展示会は平成 18 年度に引き続き 2 回目となりました。

[常設展、特別展]

今年度は常設展を 4 ヶ月、特別展は東北大学附属図書館との共催で日本の和算家である関孝和没後 300 年を記念した「はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」（平成 20 年 10 月 25 日～11 月 24 日）、本館職員による「叡智の杜から - 仙台藩の和算と洋学書」（平成 20 年 12 月 6 日～平成 21 年 2 月 27 日）及び「地図～世界を規定する試み～」（平成 21 年 3 月 7 日～平成 21 年 6

月 28 日) の計 3 回行いました。

特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成 20 年 3 月 4 日(火) ～ 5 月 31 日(土)	「きらめく叡智と美のしづく展」 平成 19 年度県指定文化財等を公開
2	平成 20 年 10 月 25 日(土) ～ 11 月 24 日(月)	「関孝和没後 300 年記念 はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! -」
3	平成 20 年 12 月 6 日(土) ～ 平成 21 年 2 月 27 日(金)	宮城県図書館移転開館 10 周年記念・特別展示会 「叡智の杜から - 仙台藩校養賢堂の和算書と洋学書 -」 『数度衍』(「関算四伝書」のうち唯一の漢籍刊本)などの 和算書や仙台藩藩校養賢堂旧蔵書からの洋学関係資料の展 示
4	平成 21 年 3 月 7 日(土) ～ 6 月 28 日(日)	「地図～世界を規定する試み～」

常設展

回	開催期間	タイトル
1	平成 20 年 6 月 4 日(水) ～ 10 月 15 日(水)	「きらめく叡智と美のしづく展」

(8) 「プロジェクト 22」 宮城県図書館活用推進事業

平成 16 年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するものです。平成 20 年度は「みやぎ県民大学開放講座」(全 5 回)と東北大学合同企画展、図書館親子ツアーの 3 プロジェクトで構成しました。これについては、学習機会の提供「プロジェクト 22」の中で詳しく前述しています。

「プロジェクト 22」における取り組みは、職員の意識向上、組織の活性化を図る好機となりました。

b 図書館の人的資源の活用

図書館の人的資源の活用としてはプロジェクト 22、みやぎ県民大学、施設見学の実施、図書館親子ツアーの実施等を行いました。

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行いました。相談件数は年間 536 件(面接相談 442 件、電話相談 94 件)で、生涯学習室への入室者数は 2,515 人となりました。

こども図書室以外の職場体験学習は、中学校 5 校・高等学校 1 校・特別支援学校(養護学校) 1 校 計 23 人の生徒を受け入れました。

4 平成20年度宮城県図書館協議会

(1) 設置根拠

図書館の運営に関しての館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関として設置されている（宮城県図書館協議会設置条例）。

- (2) 委員数
- | | |
|-----|-----|
| 会 長 | 1人 |
| 副会長 | 1人 |
| 委 員 | 8人 |
| 計 | 10人 |

第29次宮城県図書館協議会委員

（任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日）平成21年3月31日現在

区 分	氏 名	役 職 名	備 考
会 長	澤 井 清	宮城学院女子大学 教授	
副会長	野 家 啓 一	東北大学理事・付属図書館長	
委 員	遠 藤 幸 生	宮城県佐沼高等学校 校長	
委 員	大 島 真 理	東北福祉大学 講師	
委 員	齋 藤 弘 子	宮城テレビ番組審議会委員	
委 員	佐 藤 敏 国	仙台市民図書館 館長	
委 員	千 葉 啓 子	風のアトリエ（自営）	
委 員	千 葉 由 香	（有）荒蝦夷 取締役	
委 員	寺 島 英 弥	（株）河北新報 編集局生活文化部長	
委 員	平 間 啓 子	白石市役所 市民課 課長補佐	

(3) 開催状況

第1回 平成20年6月27日（金）

第29次宮城県図書館協議会会長，副会長選

報告事項 平成19年度利用状況及び平成20年度主要事業について
宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画について

第2回 平成20年12月18日（木）

報告事項 平成20年度の展示会等について

協議事項 宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画（案）について

第3回 平成21年3月12日（木）

報告事項 平成20年度展示会等について

レストラン事業者の変更について

協議事項 宮城県図書館振興基本計画に基づく行動計画（案）について

(4) 平成20年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成21年3月5日（木）

- ・相互貸出実績報告
- ・構成各協議会活動報告
- ・連合会のあり方協議

5 平成 20 年度図書館資料利用状況等 (統計)

(1) 受入資料一覧表 図書・視聴覚資料 (現在高 = 平成21年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	7,695	1,484	181	9,360	824	8,536	659,412
洋書		1	0	1	0	1	17,038
ハングル資料				0		0	1,299
中国書				0		0	5,795
郷土資料	568	501	66	1,135	4	1,131	57,185
和古書				0		0	38,417
漢籍				0		0	18,886
地図資料	13	16		29		29	9,624
貸出用児童書	2,208	30	17	2,255	498	1,757	64,397
保存用児童書	2,478	245	0	2,723	201	2,522	89,736
貸出用紙芝居	67	44	0	111		111	842
街頭紙芝居				0		0	5,333
教育紙芝居				0		0	1,473
電子図書				0		0	922
マイクロフィルム	178	12	0	190		190	16,697
館外用図書				0	7	-7	3,590
図書資料小計	13,207	2,333	264	15,804	1,534	14,270	990,646
16mmフィルム				0		0	1,683
録画テープ(Uマチック)				0		0	24
録画テープ(ベータ)				0		0	30
録画テープ(VHS)	0	5	1	6	23	-17	14,276
8mmフィルム				0		0	18
CD-ROM(主に映像)				0		0	341
レコード				0	0	0	1,320
コンパクトディスク	102	197	143	442	22	420	16,345
楽譜	33	9	3	45	4	41	10,693
レーザーディスク				0	0	0	950
DVDビデオ	156	36	32	224	3	221	2,352
カセットテープ	107	5	4	116		116	4,669
オープンリールテープ				0		0	773
スライドフィルム				0		0	1,174
ELIB	33	0	0	33		33	33
視聴覚資料小計	431	252	183	866	52	814	54,681
総計	13,638	2,585	447	16,670	1,586	15,084	1,045,327

逐次刊行物

区 分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑 誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,600種	1,569種	407種	1,162種	19種
	みやぎ資料室	2,553種	607種	15種	592種	
	子ども図書室	180種	33種	14種	19種	
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,183種	640種	244種	396種	
	子ども図書室	11種	1種	1種	0種	
行政資料	新聞雑誌室	2,133種	367種	156種	211種	
	みやぎ資料室	1,985種	215種	2種	213種	
新 聞	新聞雑誌室	656種	80種	53種	27種	1種
	みやぎ資料室	208種	13種	0種	13種	
	子ども図書室	4種	3種	1種	2種	
計		19,513種	3,528種	893種	2,635種	20種
前年度		19,364種	3,605種	840種	2,765種	38種

*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

(2)開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成20年 4月	26日	42,772人	1,645人	76,824冊	2,955冊	2,934件
5月	27日	45,178人	1,673人	79,459冊	2,943冊	2,809件
6月	25日	42,639人	1,706人	73,333冊	2,933冊	2,519件
7月	27日	47,337人	1,753人	80,611冊	2,986冊	3,207件
8月	27日	50,287人	1,862人	84,467冊	3,128冊	4,163件
9月	25日	43,272人	1,731人	71,997冊	2,880冊	2,871件
10月	27日	44,718人	1,656人	74,022冊	2,742冊	2,835件
11月	26日	47,079人	1,811人	86,004冊	3,308冊	3,272件
12月	24日	38,905人	1,621人	77,871冊	3,245冊	2,678件
平成21年 1月	20日	38,669人	1,933人	79,796冊	3,990冊	2,714件
2月	15日	29,324人	1,955人	57,425冊	3,828冊	1,949件
3月	26日	45,189人	1,738人	86,139冊	3,313冊	2,834件
合 計	295日	515,369人	1,747人	927,948冊	3,146冊	34,785件
前年度合計	288日	519,962人	1,805人	922,506冊	3,203冊	32,031件
増 減	+ 7日	- 4,593人	- 58人	+ 5,442冊	- 57冊	+ 2,754件

(3) 利用登録者数

	20年3月末現在	21年3月末現在
利用登録者数	235,205人	243,745人
対前年比	+ 9,674人	+ 8,540人
新規登録者数	9,671人	9,237人

* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

居住市町村別内訳(平成20年度分で構成比の多い順)

利用登録者数

個人貸出冊数

	20年3月末現在		21年3月末現在			平成19年度		20年度	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比		貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	179,794人	76.4%	186,269人	76.4%	仙台市	729,780冊	79.1%	729,734冊	78.6%
(内訳)青葉区	58,298人	24.8%	60,240人	24.7%	(内訳)青葉区	215,391冊	23.3%	214,552冊	23.1%
宮城野区	17,225人	7.3%	17,760人	7.3%	宮城野区	31,267冊	3.4%	27,223冊	2.9%
若林区	7,587人	3.2%	7,796人	3.2%	若林区	8,708冊	0.9%	7,767冊	0.8%
太白区	16,734人	7.1%	17,115人	7.0%	太白区	22,938冊	2.5%	20,745冊	2.2%
泉区	79,950人	34.0%	83,358人	34.2%	泉区	451,476冊	48.9%	459,447冊	49.5%
富谷町	15,487人	6.6%	16,147人	6.6%	富谷町	95,960冊	10.4%	101,885冊	11.0%
大和町	5,438人	2.3%	5,702人	2.3%	大和町	26,114冊	2.8%	28,335冊	3.1%
大崎市	4,822人	2.1%	5,062人	2.1%	大崎市	12,495冊	1.4%	12,875冊	1.4%
利府町	4,241人	1.8%	4,405人	1.8%	利府町	11,790冊	1.3%	11,821冊	1.3%
多賀城市	3,736人	1.6%	3,844人	1.6%	多賀城市	5,669冊	0.6%	5,459冊	0.6%
名取市	3,497人	1.5%	3,576人	1.5%	塩竈市	4,945冊	0.5%	4,024冊	0.4%
塩竈市	2,619人	1.1%	2,686人	1.1%	名取市	4,503冊	0.5%	4,128冊	0.4%
その他	15,571人	6.6%	16,054人	6.6%	その他	31,250冊	3.4%	29,687冊	3.2%
合計	235,205人	100.0%	243,745人	100.0%	合計	922,506冊	100.0%	927,948冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	27,805	36,063	74,885	122,776	46,033	44,561	27,541	58,916	12,356	168,194	2,698	24,130	115,071	164,377	54,681	65,240	1,045,327
構成比 *1	2.7%	3.4%	7.2%	11.7%	4.4%	4.3%	2.6%	5.6%	1.2%	16.0%	0.3%	2.3%	11.0%	15.7%	5.2%		100.0%
構成比 *2	4.5%	5.8%	12.1%	19.8%	7.4%	7.2%	4.4%	9.5%	2.0%	27.2%							
前年度計	27,196	35,722	73,788	120,684	45,303	43,799	27,098	58,088	12,216	165,547	41,435	24,131	113,357	157,391	56,867	27,621	1,030,243
増減	609	341	1,097	2,092	730	762	443	828	140	2,647	-38,737	-1	1,714	6,986	-2,186	37,619	15,084

貸出冊数																	
20年4月	835	2,332	3,352	5,021	2,901	4,246	1,861	4,056	688	14,863	5,002	159		16,293	15,215		76,824
5月	877	2,412	3,588	5,615	3,357	4,427	1,840	4,199	741	14,886	5,320	119		16,087	15,991		79,459
6月	671	2,121	3,156	4,886	3,047	4,066	1,669	3,724	646	13,676	5,129	97		15,864	14,581		73,333
7月	673	2,246	3,438	5,259	3,403	4,048	1,794	4,306	691	14,859	5,221	82		19,714	14,877		80,611
8月	720	2,205	3,533	5,280	3,520	4,252	1,697	4,385	674	15,724	5,686	98		22,053	14,640		84,467
9月	680	2,123	2,993	4,761	2,793	3,947	1,519	3,767	699	14,063	5,184	86		15,952	13,430		71,997
10月	742	2,207	3,053	4,851	2,931	3,797	1,627	3,945	754	14,770	5,237	85		15,320	14,703		74,022
11月	820	2,386	3,458	5,363	3,118	4,313	1,692	4,472	692	16,514	6,049	93		20,853	16,181		86,004
12月	737	2,233	3,320	5,226	2,702	3,958	1,569	4,046	660	16,199	5,321	126		17,548	14,226		77,871
21年1月	723	2,069	3,375	5,138	2,752	4,023	1,671	3,952	668	16,301	6,248	109		18,412	14,355		79,796
2月	459	1,465	2,417	3,559	2,003	2,978	1,201	2,936	463	11,646	4,595	106		12,809	10,788		57,425
3月	708	2,313	3,585	5,062	3,138	4,213	1,803	4,153	824	17,461	6,277	103		20,619	15,880		86,139
年度計	8,645	26,112	39,268	60,021	35,665	48,268	19,943	47,941	8,200	180,962	65,269	1,263	-	211,524	174,867	-	927,948
構成比 *1	0.9%	2.8%	4.2%	6.5%	3.8%	5.2%	2.1%	5.2%	0.9%	19.5%	7.0%	0.1%		22.8%	18.8%		100.0%
構成比 *2	1.8%	5.5%	8.3%	12.6%	7.5%	10.2%	4.2%	10.1%	1.7%	38.1%							
前年度計	10,876	30,494	48,998	67,846	40,355	58,154	22,951	54,491	9,621	196,072	347	1,815	-	204,933	175,553	-	922,506
増減	-2,231	-4,382	-9,730	-7,825	-4,690	-9,886	-3,008	-6,550	-1,421	-15,110	64,922	-552		6,591	-686		5,442

構成比 *1 : 対総数での構成比を算出したもの

構成比 *2 : 一般図書のうちNDC分類付と済みの資料内での構成比を算出したもの

(5) 古書閲覧及び特別利用

		閲覧利用	特別利用								
			特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計
20年 4月	利用件数	3件				5件					5件
	利用冊数	17冊				105冊					105冊
5月	利用件数	23件	1件	1件		4件					6件
	利用冊数	93冊	10冊	197冊		5冊					212冊
6月	利用件数	11件	2件	3件		2件					7件
	利用冊数	966冊	15冊	13冊		16冊					44冊
7月	利用件数	160件	4件			2件			1件		7件
	利用冊数	599冊	67冊			2冊			1冊		70冊
8月	利用件数	7件	1件			1件					2件
	利用冊数	55冊	1冊			1冊					2冊
9月	利用件数	5件	1件	2件		8件					11件
	利用冊数	272冊	1冊	6冊		76冊					83冊
10月	利用件数	12件	1件			2件					3件
	利用冊数	244冊	1冊			2冊					3冊
11月	利用件数	2件	1件			7件			2件		10件
	利用冊数	13冊	1冊			11冊			2冊		14冊
12月	利用件数	6件				3件			1件		4件
	利用冊数	8冊				22冊			2冊		24冊
21年 1月	利用件数	3件	2件			3件			2件		7件
	利用冊数	47冊	232冊			3冊			2冊		237冊
2月	利用件数	8件	2件	1件		11件			1件		15件
	利用冊数	60冊	47冊	23冊		15冊			2冊		87冊
3月	利用件数	16件	1件	2件		10件					13件
	利用冊数	114冊	4冊	3冊		22冊					29冊
計	利用件数	256件	16件	9件	0件	58件	0件	0件	7件	0件	90件
	利用冊数	2,488冊	379冊	242冊	0冊	280冊	0冊	0冊	9冊	0冊	910冊
前年度計	利用件数	104件	24件	30件	0件	83件	1件	1件	9件	0件	148件
	利用冊数	2,535冊	182冊	825冊	0冊	267冊	1冊	1冊	514冊	0冊	1,790冊

(6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
20年 4月	271件	11件	14件	2,635件	3件	2,934件
5月	307件	8件	40件	2,452件	2件	2,809件
6月	290件	9件	20件	2,192件	8件	2,519件
7月	284件	7件	27件	2,887件	2件	3,207件
8月	347件	13件	20件	3,779件	4件	4,163件
9月	330件	13件	20件	2,508件	0件	2,871件
10月	313件	11件	23件	2,488件	0件	2,835件
11月	347件	8件	21件	2,896件	0件	3,272件
12月	279件	8件	16件	2,374件	1件	2,678件
21年 1月	293件	14件	12件	2,395件	0件	2,714件
2月	215件	12件	17件	1,704件	1件	1,949件
3月	320件	10件	15件	2,489件	0件	2,834件
計	3,596件	124件	245件	30,799件	21件	34,785件
前年度計	3,592件	270件	471件	27,689件	9件	32,031件

(7) 文献複写の利用

種類別枚数

種別		枚数
電子複写	白黒	144,153 (146,748)
	カラー	410 (418)
マイクロフィルム		12,544 (17,145)
写真撮影		15,262 (2,231)
計		172,369 (166,542)
月平均		14,364 (13,879)

受付窓口別枚数

種別	枚数
一般図書 カウンター	22,724 (24,092)
調査相談 カウンター	21,033 (26,819)
新聞雑誌室	52,077 (56,952)
みやぎ資料室	76,535 (56,448)
計	172,369 (164,311)

() 前年度

(8) 図書館間の相互協力

協力貸出冊数

図書館名	19年度	20年度
仙台市民	854冊	1,137冊
仙台市広瀬	225冊	178冊
仙台市宮城野	349冊	343冊
仙台市榴岡	204冊	178冊
仙台市泉	338冊	372冊
仙台市若林	607冊	729冊
仙台市太白	514冊	429冊
石巻市	832冊	738冊
塩竈市	778冊	706冊
大崎市	1,063冊	1,164冊
気仙沼市	452冊	485冊
白石市	363冊	382冊
名取市	876冊	1,299冊
角田市	334冊	536冊
多賀城市	946冊	1,095冊
岩沼市	555冊	456冊
登米市迫	681冊	562冊
登米市登米	236冊	154冊

図書館名	19年度	20年度
栗原市	1,012冊	1,051冊
東松島市	610冊	432冊
蔵王町	1,056冊	945冊
丸森町	43冊	73冊
亘理町	641冊	646冊
利府町	1,053冊	1,014冊
加美町中新田	149冊	395冊
加美町小野田	127冊	567冊
美里町小牛田	1,109冊	1,564冊
美里町南郷	314冊	286冊
南三陸町	447冊	548冊
本吉町	371冊	295冊
小計	17,139冊	18,759冊
公民館図書室等	5,375冊	5,871冊
県外図書館等	1,358冊	1,388冊
合計	23,872冊	26,018冊

協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	19年度	20年度
北海道	232冊	176冊
青森	78冊	118冊
岩手	204冊	124冊
秋田	95冊	54冊
山形	119冊	304冊
福島	131冊	153冊
茨城	19冊	10冊
栃木	4冊	7冊
群馬	10冊	3冊
埼玉	18冊	26冊
千葉	43冊	26冊
東京	20冊	22冊
神奈川	3冊	4冊
新潟	5冊	10冊
山梨	2冊	2冊
長野	1冊	3冊
静岡	38冊	8冊
富山	3冊	3冊
石川	0冊	4冊
福井	3冊	5冊
岐阜	3冊	1冊
愛知	17冊	25冊
三重	186冊	179冊

都道府県	19年度	20年度
滋賀	16冊	9冊
京都	11冊	11冊
大阪	9冊	5冊
兵庫	8冊	2冊
奈良	3冊	4冊
和歌山	0冊	2冊
鳥取	2冊	4冊
島根	0冊	2冊
岡山	9冊	37冊
広島	3冊	2冊
山口	11冊	3冊
徳島	3冊	2冊
香川	5冊	13冊
愛媛	4冊	6冊
高知	1冊	5冊
福岡	9冊	3冊
佐賀	4冊	3冊
長崎	12冊	0冊
熊本	3冊	2冊
大分	0冊	2冊
宮崎	8冊	3冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	3冊	1冊
計	1,358冊	1,388冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
20年 4月	1,748冊	100冊	1,848冊	57冊	22冊	5冊	84冊	15件	6件	21件	0件	4件	16件	20件	18件	0件	18件
5月	1,807冊	131冊	1,938冊	75冊	16冊	2冊	93冊	15件	21件	36件	0件	0件	22件	22件	11件	5件	16件
6月	1,836冊	183冊	2,019冊	56冊	9冊	2冊	67冊	2件	51件	53件	0件	4件	12件	16件	11件	10件	21件
7月	2,289冊	100冊	2,389冊	88冊	13冊	1冊	102冊	0件	6件	6件	0件	1件	37件	38件	12件	2件	14件
8月	2,189冊	100冊	2,289冊	92冊	12冊	3冊	107冊	13件	10件	23件	0件	0件	0件	0件	15件	2件	17件
9月	2,283冊	110冊	2,393冊	40冊	6冊	1冊	47冊	1件	95件	96件	0件	2件	20件	22件	17件	9件	26件
10月	2,375冊	111冊	2,486冊	67冊	22冊	2冊	91冊	12件	14件	26件	6件	3件	14件	23件	17件	5件	22件
11月	2,011冊	158冊	2,169冊	65冊	17冊	0冊	82冊	1件	9件	10件	0件	0件	22件	22件	13件	2件	15件
12月	1,943冊	86冊	2,029冊	93冊	18冊	0冊	111冊	1件	15件	16件	0件	4件	15件	19件	15件	3件	18件
21年 1月	1,872冊	97冊	1,969冊	60冊	10冊	0冊	70冊	9件	24件	33件	2件	23件	31件	56件	11件	8件	19件
2月	2,309冊	101冊	2,410冊	63冊	13冊	1冊	77冊	8件	3件	11件	1件	3件	6件	10件	11件	3件	14件
3月	1,968冊	111冊	2,079冊	59冊	12冊	9冊	80冊	4件	2件	6件	3件	2件	6件	11件	11件	2件	13件
計	24,630冊	1,388冊	26,018冊	815冊	170冊	26冊	1,011冊	81件	256件	337件	12件	46件	201件	259件	162件	51件	213件
前年度計	22,514冊	1,358冊	23,872冊	712冊	225冊	25冊	962冊	126件	121件	247件	6件	66件	419件	491件	117件	38件	155件

貸出依頼件数

	平成19年度	平成20年度
貸出依頼件数	24,128件	26,376件
所蔵件数	23,368件	25,668件
購入	504件	350件
借受・他館紹介等	55件	90件
提供不可	201件	268件
調査相談	155件	213件

(9)障がい者サービス

郵送貸出の利用

	新規登録	郵送貸出資料別							合計	
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD	DVD		
20年 4月	1人	利用件数	36件	20件		0件	8件	6件	0件	34件
		利用冊数	57冊	17タイトル	53点	0冊	26点	17点	0点	60点
5月	2人	利用件数	34件	24件		0件	8件	6件	0件	38件
		利用冊数	127冊	25タイトル	88点	0冊	27点	23点	0点	75点
6月	3人	利用件数	36件	22件		0件	7件	7件	0件	36件
		利用冊数	123冊	22タイトル	94点	0冊	19点	24点	0点	65点
7月	4人	利用件数	36件	24件		0件	7件	11件	1件	43件
		利用冊数	105冊	29タイトル	107点	0冊	20点	26点	1点	76点
8月	0人	利用件数	35件	22件		0件	4件	7件	0件	33件
		利用冊数	100冊	22タイトル	80点	0冊	9点	18点	0点	49点
9月	1人	利用件数	32件	23件		0件	2件	7件	0件	32件
		利用冊数	102冊	29タイトル	111点	0冊	10点	21点	0点	60点
10月	5人	利用件数	39件	27件		0件	1件	4件	0件	32件
		利用冊数	123冊	22タイトル	91点	0冊	5点	13点	0点	40点
11月	0人	利用件数	29件	28件		0件	4件	12件	2件	46件
		利用冊数	83冊	29タイトル	87点	0冊	8点	28点	2点	67点
12月	2人	利用件数	40件	24件		0件	5件	10件	5件	44件
		利用冊数	121冊	29タイトル	80点	0冊	18点	21点	5点	73点
21年 1月	2人	利用件数	43件	25件		0件	3件	11件	2件	41件
		利用冊数	112冊	23タイトル	71点	0冊	9点	31点	2点	65点
2月	1人	利用件数	38件	22件		4件	3件	11件	1件	41件
		利用冊数	95冊	18タイトル	96点	11冊	12点	31点	1点	73点
3月	1人	利用件数	35件	21件		4件	4件	9件	0件	38件
		利用冊数	127冊	17タイトル	53点	10冊	15点	30点	0点	72点
計	22人	利用件数	433件	282件		8件	56件	101件	11件	891件
		利用冊数	1,275冊	282タイトル	1,011点	21冊	178点	283点	11点	2,779点
前年度計	27人	利用件数	338件	268件		49件	90件	84件	0件	829件
		利用冊数	1,191冊	275タイトル	1,105点	122冊	339点	246点	0点	3,003点

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービスの利用						調査相談件数	
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			計
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
20年 4月	実施件数	7件	7件			6件	16件	36件	44件
	のべ時間	7.0時間	55.0時間			2.2時間	14.0時間	78.2時間	
5月	実施件数	6件	6件			5件	16件	33件	72件
	のべ時間	6.0時間	47.0時間			1.3時間	15.3時間	69.6時間	
6月	実施件数	3件	6件			5件	10件	24件	48件
	のべ時間	2.0時間	27.0時間			2.1時間	9.1時間	40.2時間	
7月	実施件数	3件	6件			8件	16件	33件	73件
	のべ時間	6.0時間	28.2時間			3.8時間	10.6時間	48.6時間	
8月	実施件数	4件	5件			5件	17件	31件	61件
	のべ時間	14.5時間	21.0時間			2.3時間	13.8時間	51.6時間	
9月	実施件数	5件	6件			4件	15件	30件	38件
	のべ時間	14.5時間	18.2時間			1.3時間	12.3時間	46.3時間	
10月	実施件数	3件	5件			5件	12件	25件	46件
	のべ時間	7.0時間	17.0時間			2.0時間	8.2時間	34.2時間	
11月	実施件数	4件	7件			4件	9件	24件	53件
	のべ時間	9.0時間	22.0時間			1.3時間	6.0時間	38.3時間	
12月	実施件数	3件	5件			4件	8件	20件	45件
	のべ時間	5.0時間	15.0時間			1.3時間	4.9時間	26.2時間	
21年 1月	実施件数	2件	3件		1件	5件	9件	20件	49件
	のべ時間	3.0時間	13.0時間		2.0時間	1.5時間	6.5時間	26.0時間	
2月	実施件数	3件	4件			5件	9件	21件	55件
	のべ時間	7.0時間	14.3時間			1.6時間	8.1時間	31.0時間	
3月	実施件数	4件	4件			7件	11件	26件	60件
	のべ時間	2.5時間	15.0時間			2.1時間	8.2時間	27.8時間	
計	実施件数	47件	64件	0件	1件	63件	148件	323件	644件
	のべ時間	83.5時間	292.7時間	0.0時間	2.0時間	22.8時間	117.0時間	518.0時間	
前年度計	実施件数	30件	68件	0件	3件	47件	115件	263件	783件
	のべ時間	31.0時間	234.4時間	0.0時間	6.0時間	10.2時間	101.0時間	382.6時間	

(10)生涯学習相談

	相談 受付 日数	相談 受付 件数	1 日 平均 件数	受付方法別		相談内容別						
				面 接 相 談	電 話 相 談	イ 学 ベ 習 機 ト 会	場 施 所 設	グ 団 ル ー プ 体	指 講 導 者 師	資 格	情 報 源	そ の 他
20年 4月	17	50	2.9	41	9	11	3	1	3	2	19	11
5月	18	66	3.7	46	20	10	1	1	18	2	17	17
6月	16	47	2.9	40	7	6	-	3	3	-	21	14
7月	18	61	3.4	48	13	2	1	2	12	3	22	19
8月	18	36	2	31	5	5	-	-	4	-	17	10
9月	16	41	2.6	39	2	6	-	-	2	-	17	16
10月	17	51	3	42	9	9	1	2	6	3	17	13
11月	17	34	2	28	6	9	-	2	3	-	7	13
12月	16	56	3.5	46	10	19	-	-	7	1	17	12
21年 1月	13	34	2.6	32	2	5	-	-	-	-	19	10
2月	11	26	2.4	20	6	7	-	-	6	-	5	8
3月	16	34	2.1	29	5	6	-	2	5	-	12	9
合 計	193	536	2.8	442	94	95	6	13	69	11	190	152
構成比		100.0%		82.5%	17.5%	17.7%	1.1%	2.4%	12.9%	2.1%	35.4%	28.4%
前年度計	284	973	3.4	746	227	218	40	22	87	37	312	257

区分	相談者の 男女別	
	男	女
人 数	357	179
構成比	66.6%	33.4%
前年度計	636	337

(11)施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成20年 4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	1	22	2	49	0	31	0	0	1	7	4	78
6月	1	20	0	0	4	90	1	0	1	29	1	1	7	140
7月	1	8	6	146	5	109	0	43	2	73	1	4	15	340
8月	1	32	0	0	4	55	2	28	0	0	0	0	5	87
9月	1	20	4	62	4	105	2	0	2	156	0	0	11	343
10月	0	0	2	41	1	13	0	0	1	28	2	6	6	88
11月	2	41	2	26	3	35	0	0	0	0	2	7	9	109
12月	0	0	0	0	2	55	0	0	0	0	0	0	2	55
平成21年 1月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	0	0	1	22
2月	0	0	3	46	2	21	0	0	0	0	0	0	5	67
3月	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	6	121	19	346	27	532	5	102	7	308	7	25	66	1,332
前年度合計	5	129	14	270	22	709	8	180	10	280	13	44	64	1,432

6 広報活動並びに刊行物

(1) 広報活動

イ 広報誌

- ・宮城県図書館だより『ことばのうみ』

第28号（平成20年7月）、第29号（平成20年12月）、第30号（平成21年3月）を発行。

ロ テレビ・ラジオ

- ・エフエムいずみ放送の番組「Lady, Go!」に毎月第2木曜日に職員が出演し、施設の利用案内、主催事業等について広報した。また、テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを利用して随時広報を実施。

ハ インターネット

- ・行事案内、新着資料案内等をホームページに掲載。
- ・メールマガジンの発行

創刊準備号（平成20年12月）第1号（平成21年1月）第2号（平成21年1月）第3号（平成21年2月）第4号（平成21年3月）

(2) 刊行物

イ 平成20年度要覧

（企画協力班）

ロ 利用案内

（企画協力班）

ハ 第39回子どもの本展示会目録

（利用サービス班）

ニ 児童図書の新刊紹介「子どもの森・本のいずみ」NO.116～127

（利用サービス班）

ホ 平成20年度宮城県図書館貴重資料専門調査報告書

（調査班）

ヘ 平成20年度図書館・公民館図書室等現状調査

（企画協力班）

ト 紀要『叡智の杜』第6号

（企画協力班）

チ 宮城県図書館協会だより

（総務班）

7 平成 20 年度の主な行事

月	行 事 等	備 考
4	16日 ボランティア専門講座（音訳 ） 19日 子どもの本展示会（～4/30） 24日 ボランティア専門講座（音訳 ） 26日 ボランティア専門講座（音訳 補講）	
5	8日 ボランティア専門講座（音訳 ） 9日 公共図書館等初任者研修（前期） 14日 ボランティア専門講座（図書館案内 ） 15日 図書館協会監査会・役員会・総会 ボランティア専門講座（音訳 ） 17日 ボランティア専門講座（音訳 補講） 22日 ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講） 23日 公共図書館連絡会議 24日 ボランティア追加登録者養成講座（一般講座補講）	
6	4日 常設展「きらめく叡智と美のしづく展」（～10/15） ボランティア専門講座（図書館案内 ） 12日 ボランティア全体研修会 14日 ボランティア専門講座 20日 公民館図書室職員研修 27日 第1回宮城県図書館協議会	
7	17日 ボランティア専門講座（音訳 ） 25日 平成20年度北日本図書館連盟総合・経営部門研究集会 公共図書館長等研修会 宮城県図書館創立記念日（創立126周年） 26日 ボランティア養成講座（音訳 ） 31日 ボランティア養成講座（音訳 ）	
8	6日 図書館親子ツアー 9日 図書館親子ツアー	
9	18日 貴重資料専門調査（～3/19） 26日 公共図書館等初任者研修会（後期）	
10	6日 第2回防災訓練 16日 第3回防災訓練 17日 公共図書館等職員研修会 24日 ボランティア専門講座（図書館案内 ） 25日 東北大学合同企画展「はっぴいさんぼう - 和算の世界へようこそ! - 」 （～11/24） 東北大学合同企画展 記念講演会	
11	1日 みやぎ県民大学 「目で視るみやぎ～県政ニュースを振り返る～」 7日 公共図書館等職員研修 8日 みやぎ県民大学 「江戸城内の将軍家図書館-紅葉山文庫と書物奉行 東北大学合同企画展 記念講演会 15日 みやぎ県民大学 「折本づくりについて～超かんたんきれいに仕上がる私だけのオリジナル折本」 21日 公共図書館連絡会議	

11	22日 みやぎ県民大学 「宮城県図書館 貴重書の世界 みやぎの『叡智』の源流を訪ねて」 29日 みやぎ県民大学 「時代に睨まれた本たち もう一つの貴重資料」	
12	5日 公共図書館等職員研修会 6日 宮城県図書館移転開館 10周年記念特別展「叡智の杜から - 仙台藩校 養賢堂の和算書と洋学書 -」(～2/27) 10日 生涯学習アラカルト講座 「バリアフリーとユニバーサルデザインの違いについて」 11日 生涯学習アラカルト講座 「竹細工(竹とんぼ・竹鉄砲)を体験！」 12日 生涯学習アラカルト講座 「家系図作成 歴史を学んで自分探し」 13日 生涯学習アラカルト講座 「仙台二胡の会 演奏会」 平成21年度ボランティア活動説明会 17日 生涯学習アラカルト講座 「好感度アップ100%術」 18日 生涯学習アラカルト講座 「家系図作成 歴史を学んで自分探し」 第2回宮城県図書館協議会 20日 生涯学習アラカルト講座 「はやね・はやおき・あさごはん」 ボランティア専門講座(図書館案内) 24日 生涯学習アラカルト講座 「お正月飾りを飾ろう オーストラリアの自然に触れて」	
1	9日 平成21年度ボランティア活動説明会 11日 貴重資料専門調査 17日 “ 29日 特別整理期間 (～2/11)	
2	26日 平成21年度ボランティア 一般講座・専門講座 27日 貴重資料専門調査(～2/28) 28日 平成21年度ボランティア 一般講座・専門講座(補講) 宮城県図書館移転開館 10周年記念・館長特別講演「ふるさとみやぎに息づく日本のこころ」	
3	5日 宮城県図書館協会役員会 宮城県図書館協議会連合会理事会 7日 特別展「「地図～世界を規定する試み～」(～6/28) ボランティア専門講座(図書館案内) 宮城県図書館移転開館 10周年記念・館長特別講演「ふるさとみやぎに息づく日本のこころ」 8日 貴重資料専門調査 12日 第3回宮城県図書館協議会 14日 宮城県図書館移転開館 10周年記念・館長特別講演「ふるさとみやぎに息づく日本のこころ」 18日 宮城県図書館移転開館 10周年記念・移動特別展「きらめく叡智と美のしづく展 未来へ伝えるみやぎの文化財」(～3/19) 24日 貴重資料専門調査(～3/28) 31日 宮城県図書館振興基本計画(2008～2012)アクションプラン策定 宮城県図書館資料収集方針・同資料選定基準改定	県庁

平成21年度運営計画

1 平成21年度予算

(単位：千円)

区 分	予 算 額 (20年度当初)	概 要
管 理 経 費	228,309 (232,647)	本館の運営維持費(定員内職員の人件費を除く)
図 書 館 協 議 会	439 (429)	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,884 (6,246)	機器使用料, 消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	53,252 (53,609)	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	747 (784)	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	42,767 (45,010)	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	2,257 (2,258)	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	331,655 (340,983)	

2 平成21年度事業計画

(1) 生涯学習に役立つ図書館

資料の収集・整備

目的

宮城県図書館は、すべての県民が目的に応じた知識や情報を入手して、生活の向上、地域の発展に貢献し、広く文化的な営みを持つための情報提供の拠点として存在する。

このような本館の使命にかんがみ、公平かつ長期的な視点に立って、公共図書館として備えるべき適切な蔵書構成の実現を図るものである。

収集に努める資料

- a 広く県民の学習に供する資料
- b 県民の多様な調査・研究に役立つ資料
- c 次世代の育成のための宮城資料及び児童資料
- d 県民の「知る自由」に応えることができる資料
- e 時間の経過にあっても輝きを失わない資料
- f 市町村図書館等からのニーズに応えることができ、かつ本館の目的に合う資料

資料費予算配分

(単位 千円)

	需用費	備品費	計	装 備 費 等
逐次刊行物	11,501	0	11,501	装備委託業務
郷土	1,988	433	2,421	2,965
調査相談	356	103	459	視聴覚データ作成委託
視聴覚	1,644	0	1,644	1,067
児童	5,919	0	5,919	
障害者	268	0	268	
一般図書	16,523	0	16,523	
計	38,199	536	38,735	4,032
合 計				42,767

生涯学習情報の提供

	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	図書館 ボランティア研修	ボランティアに必要な図書館活動等の考え方や技術の理解を促すため、各分野の研修を行う。	図書館ボランティア登録者	随時	県図書館
2	上映会	図書館所蔵の視聴覚資料(LD, ビデオ, DVD)を活用した上映会を通じて県民の多様な学習ニーズに応える。	県民	毎月第2・第4土日曜日 (5月:GWと第4土日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
3	夏休み親子映画会	心の交流を対象とした内容の映画鑑賞を通じて、家族間のコミュニケーション、交流の機会を提供し、家族の絆の深化、家族の教育力の向上を支援する。	県民	8月22日(土) 8月23日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館

4	家族で観る映画会	豊かな心情を育てる内容の映画鑑賞を通じて家族間のコミュニケーション，交流の機会を提供し，家族の絆の深化，家庭の教育力の向上を支援する。	県民	1月9日(土) 1月10日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
5	春休み 子ども映画会	春休み期間に幼児・児童を対象にして豊かな心情を育てる内容の映画に触れる機会とする。	県民	3月27日(土) 3月28日(日)	県図書館 ミニシアター 青柳館
6	『プロジェクト22』	職員による研究成果等を県民に提供する。	県民	未定	県図書館
7	みやぎ県民大学 『専門施設 開放講座』	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	未定	県図書館
8	館長講座	図書館長による教養講座 「ヤマトの進出とエミシの抵抗から みたみちのくの歴史再発見」	県民	7月25日(土) 8月29日(土) 9月26日(土)	県図書館

利用しやすい図書館への工夫

1	施設見学	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて，図書館の機能を紹介する。	市町村・ 学校司書	随時	県図書館
2	広報活動	広報誌『ことばのうみ』『子どもの森・本のいずみ』の発行やメールマガジンなどを通じて広く図書館を紹介する。	県民	随時	県図書館
3	ビジネス支援 コーナーの充実	関係機関・団体・金融機関等から資料を収集・配架しコーナーの充実に努める。	県民	随時	県図書館
4	館内表示の工夫	来館者が利用しやすいように様々な工夫を行う。	県民	随時	県図書館

(2) 情報の拠点としての図書館

市町村図書館への支援・連携・協働

1	巡回相談	県内すべての市町村図書館訪問し、運営の相談や情報提供を行う。	市町村 図書館	4月16日(木) 4月17日(金) 4月23日(木) 4月24日(金) 10月1日(木) 10月2日(金) 10月8日(木) 10月9日(金)	市町村 図書館
---	------	--------------------------------	------------	--	------------

2	公共図書館 連絡会議	市町村図書館支援，図書館の運営や相貸借等の情報交換を行う。	図書館職員	5月29日(金) 11月20日(金)	県図書館
3	公共図書館等 初任者研修会	県内市町村図書館等の初任職員を対象に図書館職員としての基本的な研修を行う。	勤務経験 2年以内の 図書館職員 公民館図書 室担当者	5月15日(金) 8月28日(金)	県図書館
4	公共図書館等 職員研修会	公共図書館等の職員を対象に著作権法やレファレンスサービス等の研修を行う。	図書館職員 公民館図書 室担当者	10月16日(金) 11月6日(金) 12月4日(金)	県図書館 市町村 図書館
5	公民館図書室 職員研修会	公民館図書室運営上の基本的事項について研修を行う。	公民館図書 室担当者	6月19日(金)	県図書館
6	公共図書館長 研修会	図書館長としての知識・技能の向上のための研修を行う。	図書館長	9月18日(金)	県図書館

いつでもどこでもサービスが受けられる体制の充実

1	図書館ネットワーク システムの整備	本館及び県内市町村図書館の蔵書を同時に検索できるシステムを整備するとともに、よりよいサービスの提供を目指し、次期システムを検討する。	県図書館	随時	県図書館
2	障がい者サービスの 充実	郵送による貸出・返却サービスや音声サービスなど障がい者サービスの充実に努める。	県図書館	随時	県図書館

調査研究に役立つ機能の充実

1	課題解決に役立つ 県内の施設の紹介	県内の高等教育機関，図書館類縁機関をホームページで紹介する。	県図書館	随時	県図書館
2	レファレンス事例 の作成・公開	本館に寄せられた多くの問い合わせや質問の中から具体的な事例をホームページで紹介する。	県図書館	随時	県図書館

(3) 次世代を育成する図書館

郷土関係資料の維持・充実

1	宮城に関する 資料の収集	宮城に関する資料の収集と郷土関係論文目録データベースの充実を図る。	県図書館	随時	県図書館
2	宮城県の行政資料 の収集	行政資料の収集と県職員向けの情報発信を行う。	県図書館	随時	県図書館

子どもの読書環境の充実

1	おはなし会	絵本・紙芝居の楽しさを共有・共感する機会を提供し、子どもの読書及び図書館利用の習慣を育てる。	県民	毎月第1水曜日 (職員)	県図書館 子ども 図書室
2	子どもの本展示会	前年に出版された児童図書を紹介し、新しく児童図書を購入する際の参考に供する。	図書館 公民館 図書室 学校図書館 県民	4月18日(土) ~4月29日 (水)	県図書館
3	子どもの本 移動展示会 (県内市町村 図書館向け)	「子どもの本展示会」で展示した資料を、県内市町村図書館等での展示会用に貸し出し、新しく児童図書を購入する際の参考に供する。	図書館 公民館 図書室	5月18日(月) ~2月26日 (金)	図書館 公民館 図書室
4	子どもの本 移動展示会 (小学校向け)	過去に出版された名作を中心とした読み物と絵本のセットを、市町村小学校での展示会用に貸し出し、子どもの読書環境づくりや読書活動の普及に努める。	小学校	随時	小学校 県図書館
5	親子図書館ツアー	親子を対象に閉架書庫など図書館の裏側を紹介する。	小学校低中 学年児と その保護者	8月1日(土) 8月6日(木)	県図書館

「宮城県図書館次世代プロジェクト」の推進

1	特別展・企画展	展示室において、貴重な所蔵資料等を広く一般に公開し、学術・文化の振興に資する。	県民	通年 (休館日を 除く)	県図書館
2	複製資料貸出事業	『坤輿万国全図』(国指定重要文化財)、『環海異聞』(宮城県指定有形文化財)、『源氏物語絵巻』や『枕草子』など、日本の文化や歴史を伝える資料のレプリカを貸し出す。	高等学校、 図書館、 公民館	随時	高等学校、 図書館、 公民館
3	貴重資料の専門調査の実施	本館に継承された貴重資料の保存と活用を図るため、研究者による専門調査を実施する。		未定	
4	貴重資料の保存修復	貴重資料の資料的価値を損なうことなく、保存・継承するため、貴重資料の保存修復を推進する。	県図書館	未定	県図書館
5	宮城県図書館紀要 『叡智の杜』発行	宮城県図書館紀要『叡智の杜』への学校図書館司書等の参加を促し、学校図書館との連携の一助とする。	市町村・ 学校司書	3月	

6	プロジェクト22 (再掲)	職員による研究成果などを県民に提供する。	県民	未定	県図書館
7	みやぎ県民大学 (再掲)	職員による本館資料を活用した講座を実施する。	県民	未定	県図書館
8	施設見学 (再掲)	学校や市民グループなど団体を対象とした施設見学を通じて、図書館の機能を紹介する。	市町村・ 学校司書	随時	県図書館
9	親子図書館ツアー (再掲)	親子を対象に閉架書庫など図書館の裏側を紹介する。	小学校低中 学年児と その保護者	8月1日(土) 8月6日(木)	県図書館
10	館長講座 (再掲)	図書館長による教養講座 「ヤマトの進出とエミシの抵抗から みたみちのくの歴史再発見」	県民	7月25日(土) 8月29日(土) 9月26日(土)	県図書館



3 平成21年度宮城県図書館協議会

図書館の運営に関して館長の諮問に応じるとともに、図書館の奉仕活動について意見を述べる機関。

第29次宮城県図書館協議会委員

(任期：平成20年3月1日～平成22年2月28日)平成21年6月1日現在

区分	氏名	役職名	備考
会長	澤井 清	宮城学院女子大学 教授	
副会長	野家 啓一	東北大学理事・附属図書館長	
委員	遠藤 幸生	宮城県佐沼高等学校 校長	
委員	大島 真理	東北福祉大学 准教授	
委員	齋藤 弘子	宮城テレビ番組審議会委員	
委員	小島 四郎	仙台市民図書館 館長	
委員	千葉 啓子	風のアトリエ(自営)	
委員	千葉 由香	(有)荒蝦夷 取締役	
委員	寺島 英弥	(株)河北新報 編集局生活文化部長	
委員	平間 啓子	白石市役所 市民課 課長	

資 料

1 特殊文庫

(1) 伊達文庫

もと仙台藩主伊達家の旧蔵書で、昭和24年に購入したもので、内容は和古書3,253点(19,197冊)、漢籍666点(9,980冊)、洋書251点(504冊)で合計4,170点(29,681冊)です。堀田正敦編の『禽譜』、光悦本『謡本』、大槻玄沢の『厚生新編』、仙台藩関係の絵図、古版本、古写本等の貴重資料が多数含まれています。

(2) 小西文庫

仙台の旧家小西家の蔵書で、昭和22年に同家より寄贈されたもので、和古書1,303点(3,147冊)、漢籍271点(1,213冊)で合計1,574点(4,360冊)です。大槻玄沢自筆の『育才呈案』、藤塚知明の名山蔵文庫本、古医学書ほか和漢の典籍が含まれています。

(3) 青柳文庫

仙台藩内から江戸へ出て成功した商人の青柳文蔵の寄付を基礎とした「青柳文庫」の旧蔵書です。

明治14年の本館創立に際して、宮城師範学校から引き継いで、養賢堂蔵書とともに本館蔵書の母体になりました。内容は和古書311点(1,468冊)、漢籍156点(1,995冊)合計467点(3,463冊)です。

(4) 養賢堂文庫

仙台藩校「養賢堂」の旧蔵書で、明治14年の本館創立に際し、宮城師範学校から引き継いだもので、和古書196点(727冊)、漢籍67点(1,008冊)合計263点(1,735冊)からなっています。和古書と漢籍の善本に特色があります。

(5) 大槻文庫

『言海』の著者、大槻文彦の旧蔵書です。昭和25年、大槻家より寄贈されました。内容は和古書71点(215冊)です。いずれも大槻家の学問を知るための貴重な資料です。とりわけ『言海』の自筆原稿は白眉です。

(6) 今泉文庫

漢詩人、郷土史家の今泉篁州の旧蔵書で、昭和14年に寄贈されたものです。ほとんどが和書で78点(188冊)からなっています。

(7) 出来文庫

宮城県出身の英語学者・斎藤秀三郎(1866～1929年)の研究者である出来成訓教授(神奈川大学)から平成16年に寄贈されたものです。斎藤秀三郎の代表的著作『斎藤和英大辞典』(1928年)や斎藤が設立した正則英語学校(東京神田)の教科書類、講義録等251点が中心になっています。また、『英文鑑』(翻刻)等の日本の英学史における貴重な資料も含まれています。

(8) その他の文庫等

- ・「佐々久文庫」 元宮城県図書館長で郷土史家の佐々久氏寄贈の同氏所蔵コレクション
- ・「庄司文庫」 昭和53年に寄贈された政治家の庄司一郎氏の旧蔵書(和書を含む約8,700冊)
- ・「井上コレクション」 昭和63年まで約30年間、仙台で街頭紙芝居をしていた井上藤吉氏から平成7年に寄贈されたもの。(手描きの紙芝居 5,320巻, 53,662枚)
- ・宮城県出身の書誌研究者、庄司浅水氏の収集による近代文学作家の肉筆草稿・書簡類

(9) その他の貴重書

- ・坤輿万国全図(国指定重要文化財)
1602年(慶長7年)イタリア人宣教師マテオ・リッチが北京で刊行した世界図です。同版は、本館のほか京都大学附属図書館及びバチカン図書館の3館で所蔵が確認されています。(ほか

に、世界図の部分を切り取って貼り直したものが内閣文庫に収蔵されています。)

2 所蔵資料目録刊行状況

(昭和29年以降)

刊行年月	目 録 名
昭和29. 4	宮城県図書館蔵郷土文献目録
37. 3	宮城県図書館蔵書目録 1. 郷土資料篇
38. 3	" 2. 総記篇
39. 1	" 3. 哲学篇
40. 1	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録
41. 3	宮城県図書館蔵書目録 4. 歴史篇
42. 3	" 6. 自然科学篇
45. 3	" 9. 芸術篇
46. 3	" 10. 語学篇
47. 3	" 8. 産業篇
48. 3	" 5. (上)社会科学篇 政治, 法律, 経済
49. 3	" 5. (下)社会科学篇 財政, 統計, 社会, 教育, 民俗, 軍事
52.12	宮城県図書館所蔵戊辰史関係資料目録(昭和52年12月現在)
53.12	宮城県図書館所蔵仙台領内交通史関係資料目録(昭和53年12月現在)
54. 3	宮城県内公共図書館逐次刊行物総合目録(昭和53年12月31日現在)
55. 3	宮城県郷土資料総合目録
56. 3	" - 県人著作・行政資料篇 -
57. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録(昭和56年12月31日現在)
58. 3	小西文庫和漢書目録
59. 3	青柳・今泉・大槻・養賢堂文庫和漢書目録
60. 3	宮城県図書館漢籍分類目録
62. 3	伊達文庫目録
63. 3	宮城県内公共図書館所蔵逐次刊行物総合目録(昭和62年5月1日現在)
平成元. 3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録(第二編)(昭和63年12月31日現在)
2. 3	宮城県図書館所蔵雑誌所収児童文学関係文献目録
3. 3	宮城県図書館和古書目録
4. 3	宮城県郷土資料件名標目表
5. 3	宮城県図書館所蔵絵図・地図解説目録
6. 3	宮城県図書館の貴重書(一般古書編)
9. 3	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM
10.10	宮城県図書館蔵書目録 CD-ROM(1997年版)
12. 3	宮城県版ISBN総合目録 CD-ROM(その後, 年2回の頻度で最新版に更新)

15.3	宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録 CD-ROM
16.3	宮城県図書館所蔵紙芝居目録 CD-ROM
20.3	宮城県図書館所蔵貴重書解説目録 『みやぎの叡智 宮城県図書館貴重書の世界』